取扱説明書（三菱ふそう編）

もくじ

ご使用になる前に

はじめに

本取扱説明書では、三菱ふそう車の診断方法に関してご説明させていただきます。

ご使用の前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。

株式会社インターサポート

安全にご利用になるために

■ 本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に、必ず本取扱説明書ならびに添付のその他の取扱説明書を必ずお読みください。

■ 本取扱説明書および添付のその他の取扱説明書では、人に対する危害や財産への損傷を未然に防止するために、危険を伴う操作、お取扱について、次の記号で警告または、注意しています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠	**警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠	**注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が負傷を負う可能性、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

以下に述べられている警告や他の案内を無視した事が原因となる製品の損害や、被害などに関しては、当社は一切責任を負いません。

⚠ 警告

- 走行状態でご使用になる場合には、必ず運転者、操作者の2人でご使用ください。操作に気を取られて事故につながる恐れがあります。
- アクティブテストは三菱ふそうのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。使用方法を間違えると、車両に悪影響をおよぼし事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）および、車両停止状態（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）で実行してください。

⚠ 注意

- 三菱ふそう車または、三菱ふそう製造のOEM車以外に使用しないでください。

対応システムと診断機能

対応システムと、診断機能の関係は以下の通りです。

	自己診断	データ表示	アクティブテスト	作業サポート	識別情報表示
エンジン	●	●※	●※	●※	●
トランスミッション	●	●	●※	ー	●
ISS	●	●	ー	ー	●
統合制御	●	●	ー	ー	●
モーターコントロール	●	●	ー	ー	●
バッテリーコントロール	●	●	ー	ー	●
尿素 SCR	●	●	ー	ー	●
エアサスペンション	●	●	●	ー	●
ABS	●	●	●※	●※	●
EZGO	●	●	ー	●※	●
MBECS	●	●	ー	ー	●
リターダ	●	●	ー	●※	ー
イモビライザ	●	●	ー	ー	●
SRSエアバッグ	●	●	ー	ー	●
SWS(通信ｼｽﾃﾑ)	●	●	ー	ー	●
MDAS	●	●	ー	ー	●
車間距離警報	●	●	ー	ー	●
MILS	●	ー	ー	ー	●
ﾍｯﾄﾞﾗﾝﾌﾟｵｰﾄﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	●	●	ー	ー	●

※一部の年式のみ対応

※注意と補足※

トランスミッションにはAT、INOMAT、フィンガーコントロールトランスミッションが含まれます。

EZGO : 三菱イージースタートシステム
INOMAT : インテリジェント＆イノベーティブメカニカルオートマチックトランスミッション
ISS : アイドリングストップ＆スタートシステム
MDAS : 三菱ドライバーズアテンションモニタリングシステム
SWS : スマートワイヤリングシステム
MILS : 積載モニター

■　試験運用版について ■

　弊社で開発および検証作業を行うにあたり、車両が希少のため情報が少ないなど検証実績の蓄積が困難なシステムについて、ソフトウェアの精度をあげるため試験運用版として追加をしたものです。

　試験運用版をご使用いただき、システムが正常に機能した結果を車両情報と診断メニューの識別情報とともに、電話、FAXまたはメールのいずれかでご連絡いただきますようお願い申し上げます。

　お客様からいただきました情報をもとに実績が蓄積され次第、正式な対応システムとしてリリースさせていただきます。

　今後の製品開発に役立てるため、お客様からのご連絡をお待ちしております。

◇ご連絡先◇

(株)インターサポート 製品保守センター

TEL ： 029-304-0185 電話受付時間 ： 平日 10:00 ～ 17:00

FAX ： 029-248-1609

メール　： hoshu@inter-support.jp

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側コネクタタイプ
			西暦	和暦	
ｷｬﾝﾀｰ	ACG-FE	4M42	'06.07～	H18.07～	B
	BJG-FE	4M42	'09.04～	H21.04～	B
	BKG-FE	4M42	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	BKG-FE	4M42	'09.05～	H21.05～	B
	KG-FB	4M40	'02.06～'04.04	H14.06～H16.04	A
	KK-FB	4M40	'02.06～'04.04	H14.06～H16.04	A
	KK-FD	4M40	'02.06～'04.04	H14.06～H16.04	A
	KK-FE	4D33	'02.06～'07.07	H14.06～H19.07	A
	KK-FE	4M50	'02.06～'04.08	H14.06～H16.08	A
	KK-FE	4M51	'02.06～'04.08	H14.06～H16.08	A
	KK-FF	4M50	'02.06～'04.08	H14.06～H16.08	A
	KK-FF	4M51	'02.06～'04.08	H14.06～H16.08	A
	KK-FG	4M51	'02.06～'04.08	H14.06～H16.08	A
	PA-FB	4M42	'04.09～'05.07	H16.09～H17.07	A
	PA-FB	4M42	'05.08～'07.03	H17.08～H19.03	A
	PA-FD	4M42	'05.04～'05.07	H17.04～H17.07	A
	PA-FD	4M42	'05.08～'07.03	H17.08～H19.03	A
	PA-FE	4M42	'04.02～'05.07	H16.02～H17.07	A
	PA-FE	4M42	'05.08～'08.04	H17.08～H20.04	A
	PA-FE	4M50	'04.05～'04.08	H16.05～H16.08	A
	PA-FE	4M50	'04.09～'05.07	H16.09～H17.07	A
	PA-FE	4M50	'05.08～'08.04	H17.08～H20.04	A
	PA-FF	4M50	'04.09～'05.07	H16.09～H17.07	A
	PA-FF	4M50	'05.08～'07.03	H17.08～H19.03	A
	PA-FG	4M50	'04.09～'05.07	H16.09～H17.07	A
	PA-FG	4M50	'05.08～'07.07	H17.08～H19.07	A
	PCG-FE	4M42	'07.01～	H19.01～	B
	PDG-FB	4M42	'07.01～'07.05	H19.01～H19.05	B
	PDG-FB	4M42	'07.06～'08.04	H19.06～H20.04	B
	PDG-FB	4M42	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	PDG-FB	4M42	'09.05～	H21.05～	B
	PDG-FD	4M42	'07.01～'07.05	H19.01～H19.05	B
	PDG-FD	4M42	'07.06～'08.04	H19.06～H20.04	B
	PDG-FD	4M42	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	PDG-FD	4M42	'09.05～	H21.05～	B

車種名	車両型式	エンジン 型式	対応年式		車両側 コネクタタイプ
			西暦	和暦	
ｷｬﾝﾀｰ	PDG-FE	4M42	'06.08～'07.05	H18.08～H19.05	B
	PDG-FE	4M42	'07.06～'08.04	H19.06～H20.04	B
	PDG-FE	4M42	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	PDG-FE	4M42	'09.05～	H21.05～	B
	PDG-FE	4M50	'06.08～'07.05	H18.08～H19.05	B
	PDG-FE	4M50	'07.06～'08.04	H19.06～H20.04	B
	PDG-FE	4M50	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	PDG-FE	4M50	'09.05～	H21.05～	B
	PDG-FF	4M50	'06.11～'07.05	H18.11～H19.05	B
	PDG-FF	4M50	'07.06～'08.04	H19.06～H20.04	B
	PDG-FF	4M50	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	PDG-FF	4M50	'09.05～	H21.05～	B
	PDG-FG	4M50	'07.05～'08.04	H19.05～H20.04	B
	PDG-FG	4M50	'08.05～'09.04	H20.05～H21.04	B
	PDG-FG	4M50	'09.05～	H21.05～	B
ﾌｧｲﾀｰ	PA-FK	4M50	'04.03～'05.09	H16.03～H17.09	A
	PA-FK	4M50	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A
	PA-FK	6M60	'04.03～'05.09	H16.03～H17.09	A
	PA-FK	6M60	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A
	PA-FL	6M60	'04.03～'05.09	H16.03～H17.09	A
	PA-FL	6M60	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A
	PDG-FK	4M50	'07.05～'09.04	H19.05～H21.04	B
	PDG-FK	4M50	'09.05～	H21.05～	B
	PDG-FK	6M60	'06.11～'09.04	H18.11～H21.04	B
	PDG-FK	6M60	'09.05～	H21.05～	B
	PDG-FL	6M60	'07.06～'09.04	H19.06～H21.04	B
	PDG-FM	6M60	'07.06～'09.04	H19.06～H21.04	B
	PDG-FQ	6M60	'07.06～'09.04	H19.06～H21.04	B
	PDG-FQ	6M60	'09.05～	H21.05～	B
	PJ-FK	6M60	'04.06～'05.09	H16.06～H17.09	A
	PJ-FK	6M60	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A
	PJ-FL	6M60	'04.06～'05.09	H16.06～H17.09	A
	PJ-FL	6M60	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A
	PJ-FM	6M60	'04.06～'05.09	H16.06～H17.09	A
	PJ-FM	6M60	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A
	PJ-FQ	6M60	'04.06～'05.09	H16.06～H17.09	A
	PJ-FQ	6M60	'05.10～'07.07	H17.10～H19.07	A

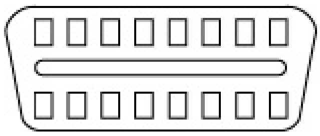
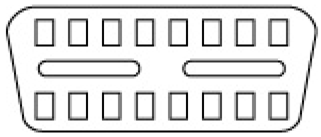
車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側コネクタタイプ
			西暦	和暦	
ｽｰﾊﾟｰｸﾞﾚｰﾄ	BDG-FP	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BDG-FS	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BDG-FT	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BDG-FU	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BDG-FV	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BDG-FW	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BDG-FY	6M70	'07.03～	H19.03～	B
	BKG-FP	6M70	'07.08～	H19.08～	B
	BKG-FS	6M70	'07.08～	H19.08～	B
	BKG-FU	6M70	'07.08～	H19.08～	B
	BKG-FV	6M70	'07.08～	H19.08～	B
	KL-FP	6M70	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FP	8DC11	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FP	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FP	8M22	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FR	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FS	6M70	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FS	8DC11	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FS	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FT	6M70	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FT	8DC11	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FU	6M70	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FU	8DC11	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FU	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FV	6M22	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FV	6M70	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FV	8DC11	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FV	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FV	8M22	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FW	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FY	6M70	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FY	8DC11	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	KL-FY	8M21	'01.01～'03.08	H13.01～H15.08	A
	PJ-FP	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FR	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FS	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FT	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FU	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FV	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FW	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A
	PJ-FY	6M70	'03.09～'07.07	H15.09～H19.07	A

車種名	車両型式	エンジン型式	対応年式		車両側 コネクタタイプ
			西暦	和暦	
ﾛｰｻﾞ	KK−BE	4D33	’01.05～’05.09	H13.05～H17.09	A
	KK−BE	4M50	’01.05～’05.09	H13.05～H17.09	A
	KK−BG	4M51	’01.05～’05.09	H13.05～H17.09	A
	PA−BE	4M50	’05.10～’07.03	H17.10～H19.03	A
	PA−BG	4M50	’05.10～’07.03	H17.10～H19.03	A
	PDG−BE	4M50	’07.04～	H19.04～	B
	PDG−BG	4M50	’07.04～	H19.04～	B
ｴｱﾛﾐﾃﾞｨ	KK−ME	4M50	’02.11～’04.12	H14.11～H16.12	A
	KK−MJ	6M61	’02.11～’04.12	H14.11～H16.12	A
	KK−MK	6M60	’02.11～’04.12	H14.11～H16.12	A
	KK−MK	6M61	’02.11～’04.12	H14.11～H16.12	A
	PA−ME	4M50	’05.01～	H17.01～	A
	PA−MK	6M60	’05.01～	H17.01～	A
	PA−MJ	4M50	’05.01～	H17.01～	A
ｴｱﾛﾐﾃﾞｨS	PDG−AJ	6M60	’08.01～	H20.01～	B
	PDG−AR	6M60	’08.01～	H20.01～	B
ｴｱﾛｴｰｽ	BKG−MS	6M70	’07.08～	H19.08～	B
	PDG−MM	6M60	’07.08～	H19.08～	B
ｴｱﾛｽﾀｰ	BJG−MP	4M50	’07.09～	H19.09～	B
	KK−MM	6M61	’00.05～’05.08	H12.05～H17.08	A
	KL−MP	6M70	’00.05～’05.08	H12.05～H17.08	A
	LKG−MP	6M60	’11.05～	H23.05～	B
	PJ−MP	6M70	’04.03～’11.04	H16.03～H23.04	A
ｴｱﾛｷﾝｸﾞ	BKG−MU	6M70	’08.04～	H20.04～	B
ｴｱﾛｸｲｰﾝ	KL−MS	8M21	’00.05～	H12.05～	A
ｴｱﾛﾊﾞｽ	KK−MM	6M60	’99.07～’04.12	H11.07～H16.12	A
	PA−MM	6M60	’05.01～	H17.01～	A
	PJ−MS	6M70	’05.01～	H17.01～	A

コネクタタイプ（車両側データリンクコネクタ形状）

タイプA：12V車、24V車共用です。

タイプB：24V車です。車両と接続する際は、オプションの「24V車用変換カプラ」が必要になる場合があります。

車両側データリンクコネクタ形状	
タイプ A（12V 車，24V 車）	タイプ B（24V 車）
	

※注意と補足※

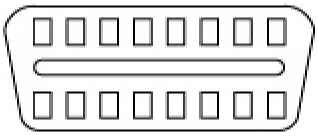
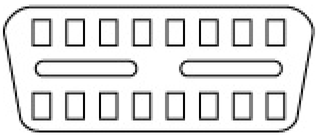
・ 三菱ふそうの対応車種はエンジンの対応により設定されています。

・ エンジンが対応していても他のシステムが対応していない場合があります。

・ 対応表の年式はあくまで目安であり、対応年式内の車両でも対応していない場合があります。

データリンクコネクタ(タイプA／タイプB)

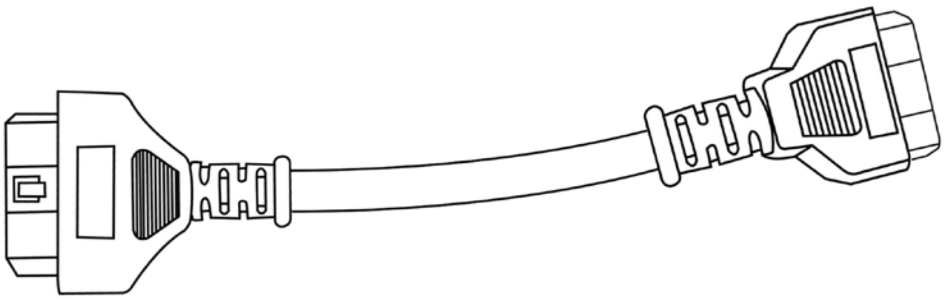
車両側データリンクコネクタは運転席インストルメントパネル下部、メインパネル内部、ダッシュボード内部、サイドブレーキ後方、助手席側シートバックまたは運転席側ベッドにあり、コネクタの形状は車両によって異なります。コネクタ形状がタイプB(24V車)の場合、24V車用変換カプラ(別途オプション品)が必要になる場合があります。

車両側データリンクコネクタ形状	
タイプ A(12V, 24V 車)	タイプ B(24V 車)
	

24V車用変換カプラ(別途オプション品)

Bタイプ(24V車)車両を診断する場合、本製品が必要となる場合があります。

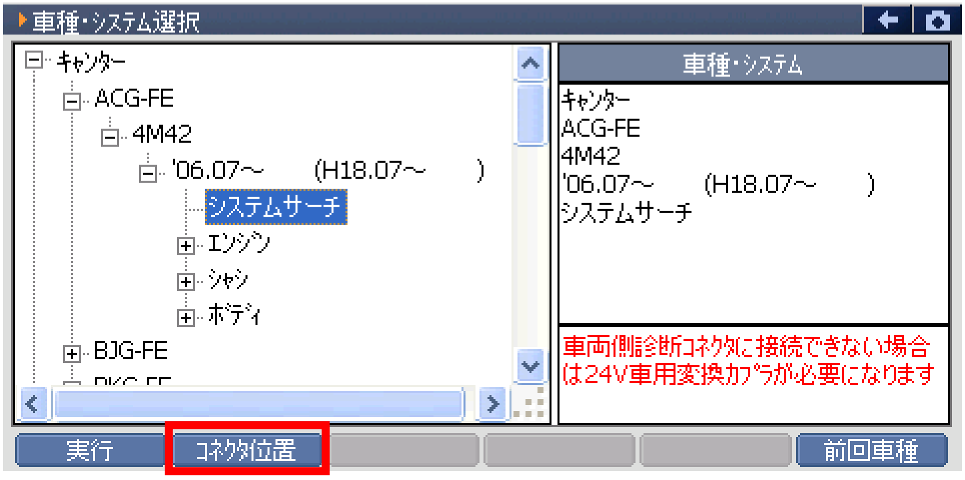
その際には、本製品のご購入をお願いいたします。



≪24V 車用変換カプラ(オプション)≫

※注意と補足※

・ 車種･システム選択画面で コネクタ位置 ボタンをタッチすると、車両側のコネクタ位置が表示されます。



<図：車種･システム選択画面>



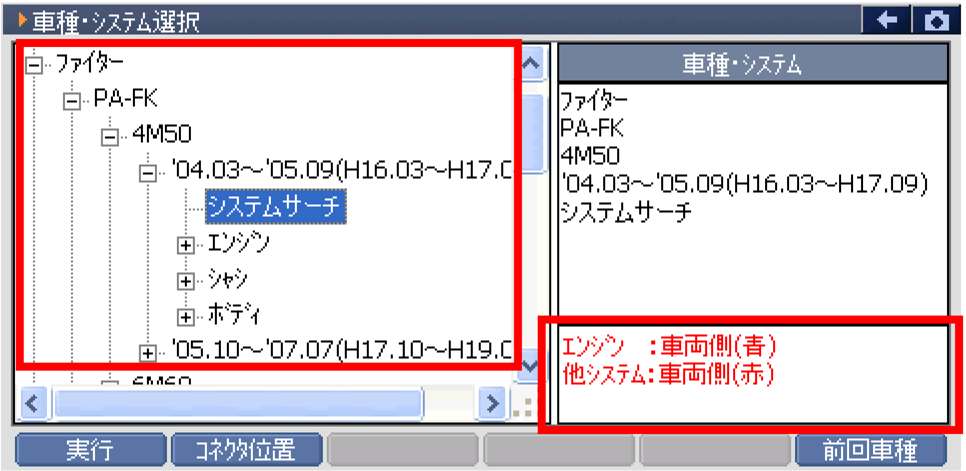
<図：コネクタ位置表示画面>

※注意と補足※

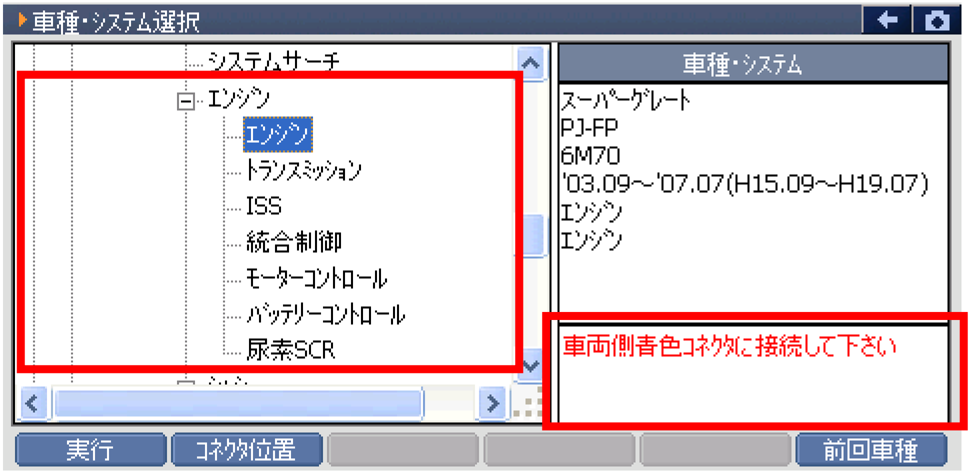
・　診断するシステムを選択した際に画面にコネクタ情報が表示されます。

・　車種・年式によっては車両側データリンクコネクタが複数あるものがあります。

　　その場合、コネクタの色によって対応するシステムが異なりますのでご注意ください。



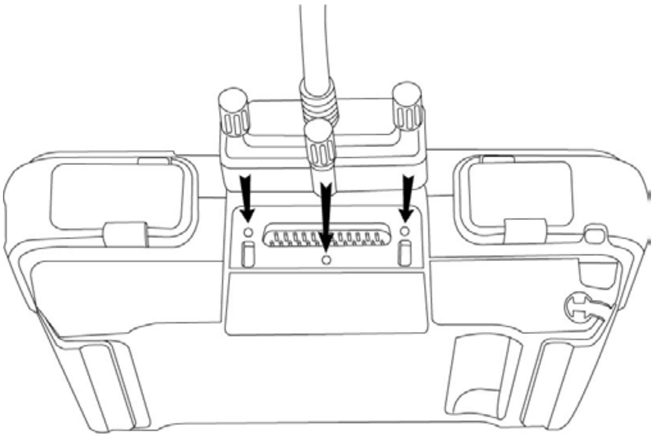
〈図：システムの選択〉



〈図：システムの選択〉

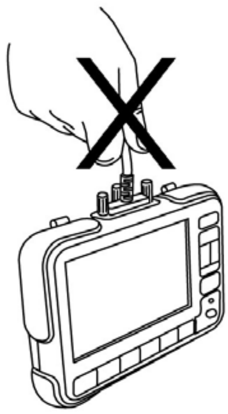
診断の準備

1）G-scanのDLCコネクタ部にDLCメインケーブルを接続し、3箇所のネジをしっかりと締め付けてください。



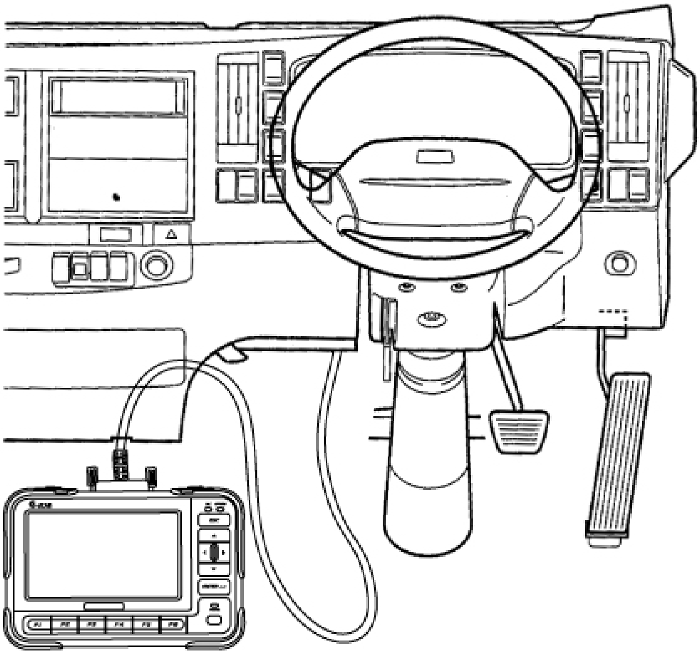
〈図：DLCメインケーブルの接続〉

警告



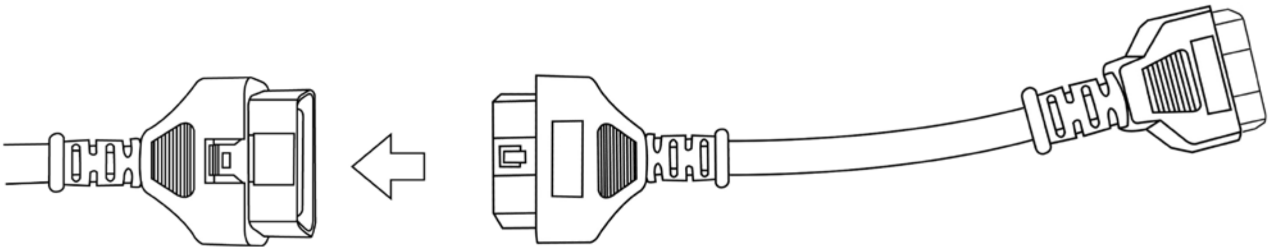
DLCメインケーブルがG-scanに接続された状態で、DLCメインケーブルのみを持たないでください。

2） G-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端を車両の診断コネクタに接続します。



〈図：車両との接続〉

3） DLCメインケーブルが車両側コネクタと接続できない場合は、24V車用変換カプラをG-scan本体に接続したDLCメインケーブルのもう一端に接続して、車両の診断コネクタと接続してください。

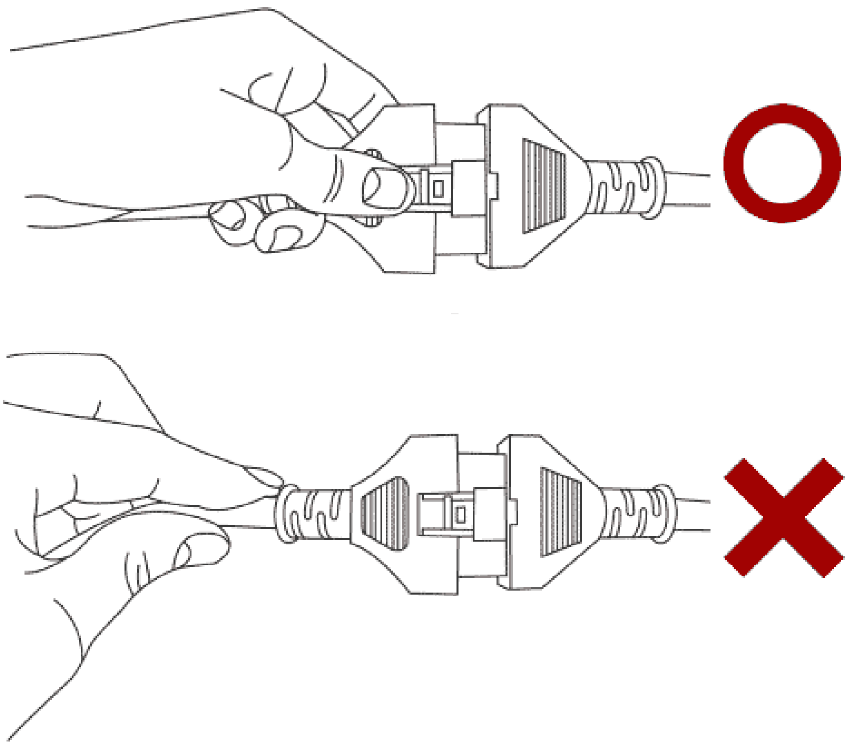


〈図：24V車用変換カプラとの接続〉

※注意と補足※

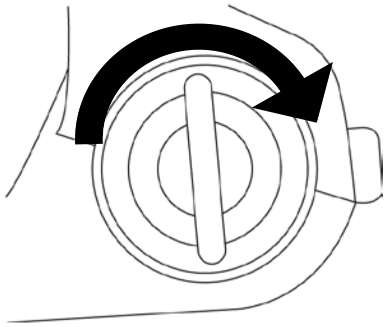
・ 24V車用変換カプラはオプション別売です。

警告



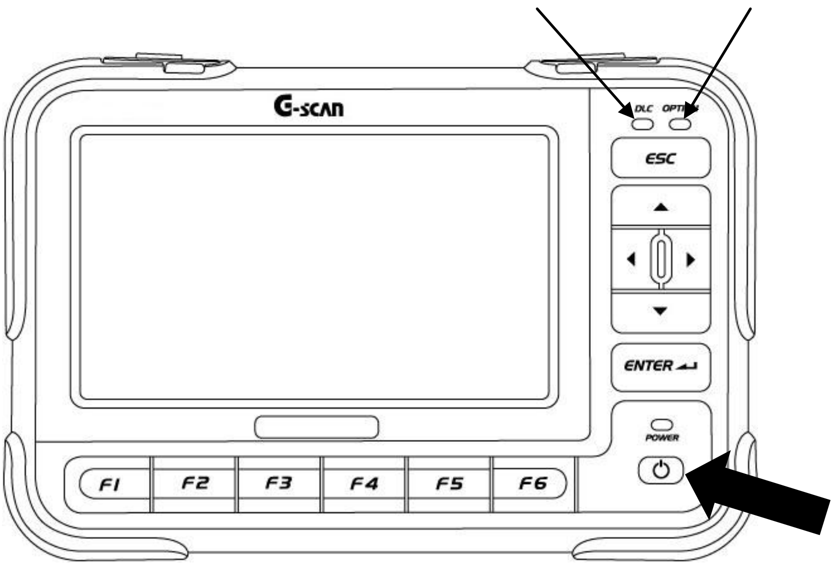
24V車用変換カプラからDLCメインケーブルを取り外すとき、ワイヤを引っ張ったり、曲げたりしないでください。ケーブルやコネクタに損害を与える場合があります。必ずつまみを押しながら取り外してください。

1）車両のIG SWをON、またはエンジンを始動します。



〈図：IG SW ONまたはエンジン始動〉

2）G-scan本体の電源ON/OFFボタンを約0.5秒長押ししてください。DLC LED、OPTION LEDがオレンジ色から緑色へと変わり、G-scanの電源がON します。



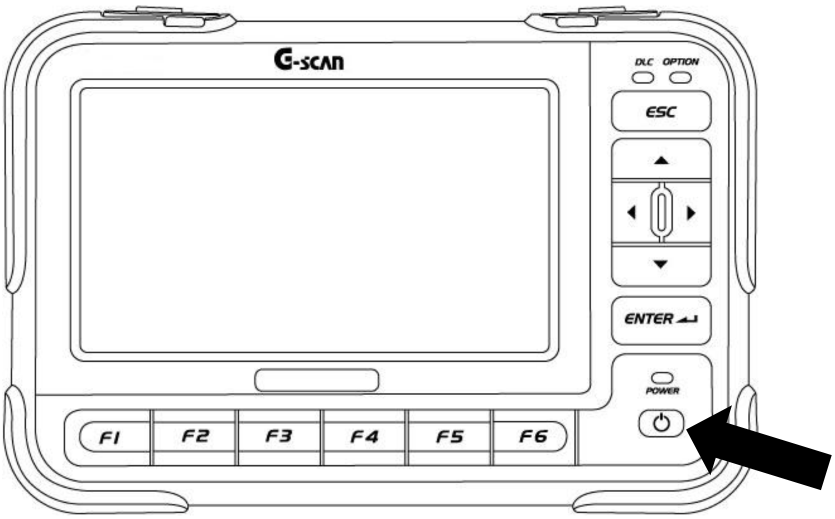
〈図：電源ON〉

3）G−scanが通常通り起動すると以下の画面が表示されます。



〈図：G−scanメイン画面〉

4）電源をOFFする場合は、上記のG−scanメイン画面を表示した状態で、電源ON／OFFボタンを約2.5秒長押ししてください。G−scanの電源がOFFします。



〈図：電源OFF〉

車種、システムを選択します

診断の準備

1）G−scanメイン画面において『車両診断』を選択して、ENTER ボタンを押してください。



〈図：車両診断を選択〉

2）メーカ選択画面が表示されます。三菱ふそうを選択して、決定 ボタンをタッチ、または F1 ボタンを押してください。



〈図：メーカ選択画面〉

3）車種・システム選択画面が表示されます。



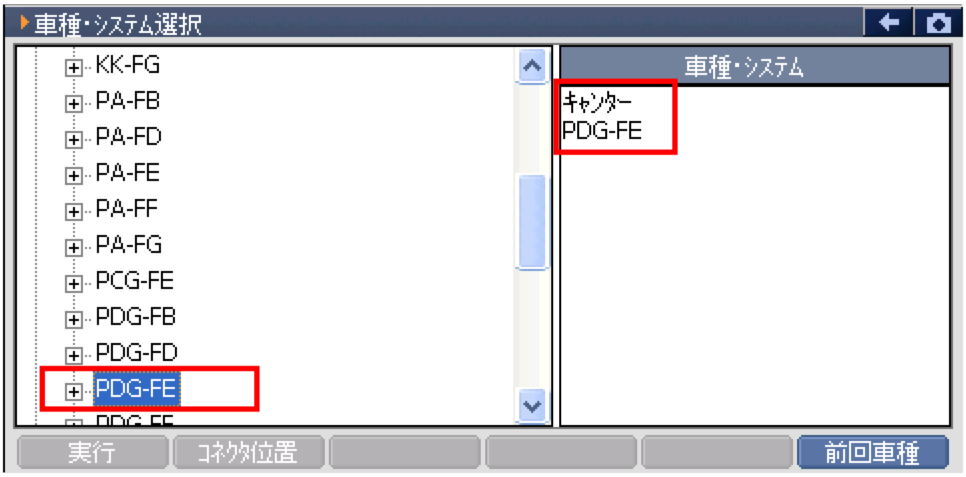
〈図：車種・システム選択画面〉

4）診断する車種名を選択して ENTER ボタンを押してください。車種名の下に型式が表示されます。

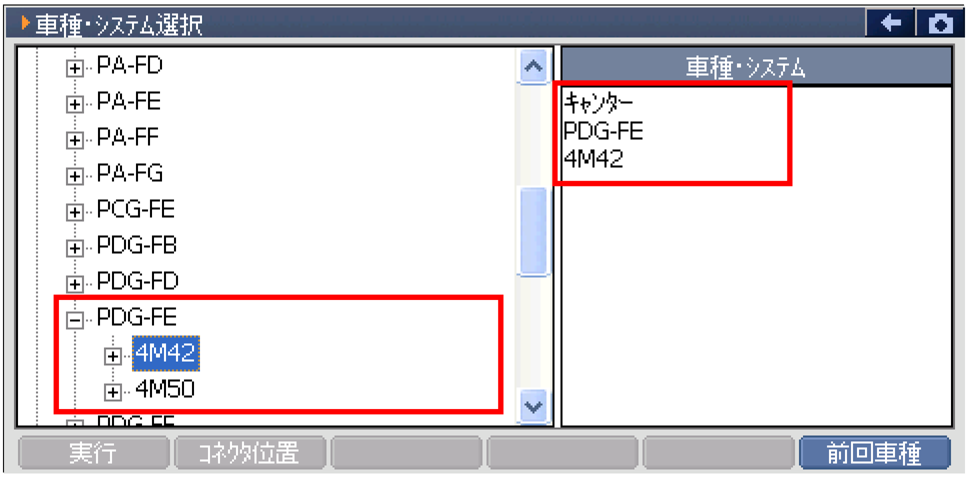


〈図：車種名の選択〉

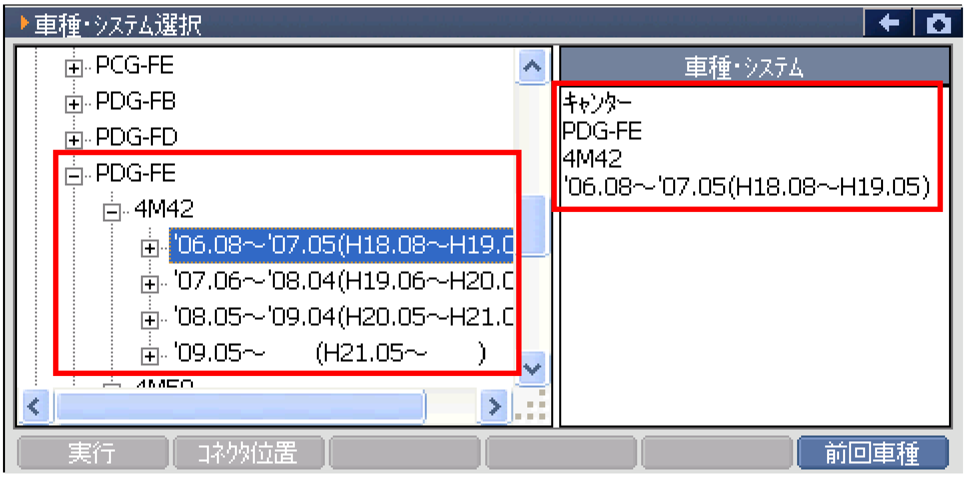
5）同様に、診断する車両の型式、エンジン型式、年式を選択してください。



〈図：型式の選択〉

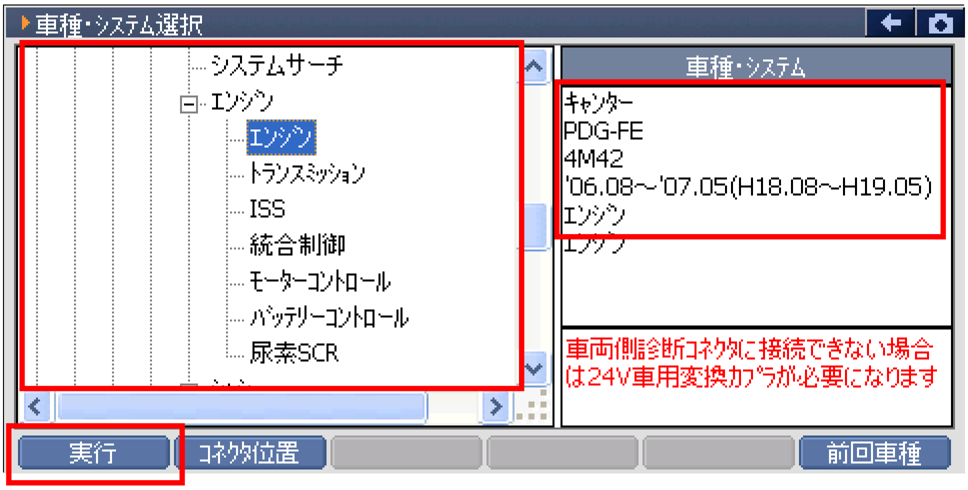


〈図：エンジン型式の選択〉



〈図：年式の選択〉

6）診断するシステムを選択して 実行 ボタンをタッチ、または F1 ボタンを押してください。



〈図：システムの選択〉

※注意と補足※

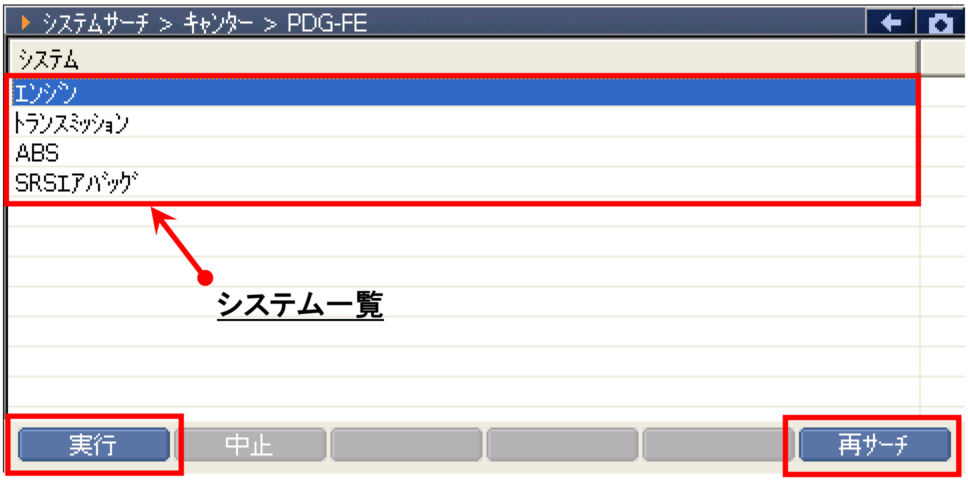
- 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。
- 車種・年式によっては車両側データリンクコネクタが複数あるものがあります。その場合、コネクタの色によって対応するシステムが異なりますのでご注意ください。
- 車種・システム選択画面で 前回車種 ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押すと、前回選択した車種、システムを自動で選択します。

・ システムサーチとは通信可能なシステムを検索する機能です。

システムサーチを実行すると、画面に通信可能なシステム一覧を表示します。

システム一覧から、システムを選択後 実行 ボタンをタッチ、または F1 ボタンを押すと選択したシステムと通信が開始され、7)の診断メニューが表示されます。

再サーチ ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押すと再度システムサーチを行います。



〈図:システムサーチ画面〉

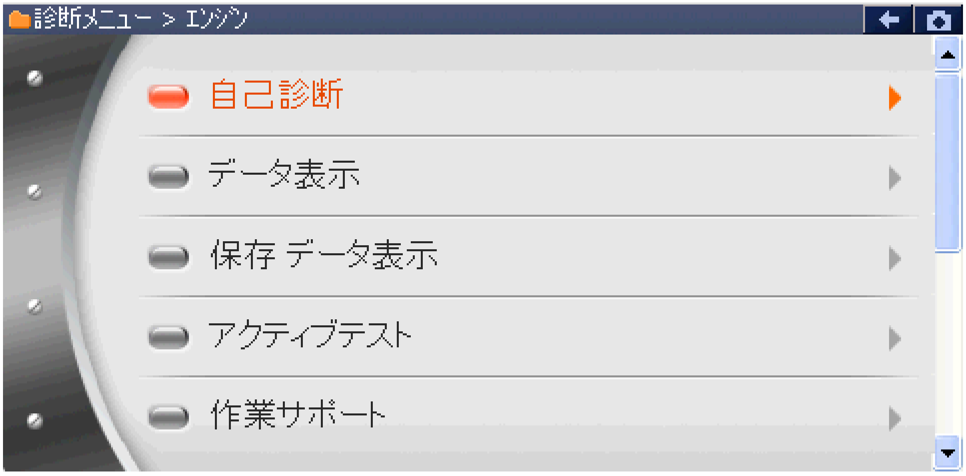
※注意と補足※

・ 車種、システムの選択は正確に行ってください。正確に車種・システム選択が行われないと故障コード違いや、データ違い、通信異常の原因になります。

・ 車種・年式によっては車両側データリンクコネクタが複数あるものがあります。その場合、コネクタの色によって対応するシステムが異なりますのでご注意ください。

・ 車種・システム選択画面で 前回車種 ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押すと、前回選択した車種、システムを自動で選択します。

7）車種・システムの選択が正しく行われると診断メニューが表示されます。



〈図：診断メニュー画面〉

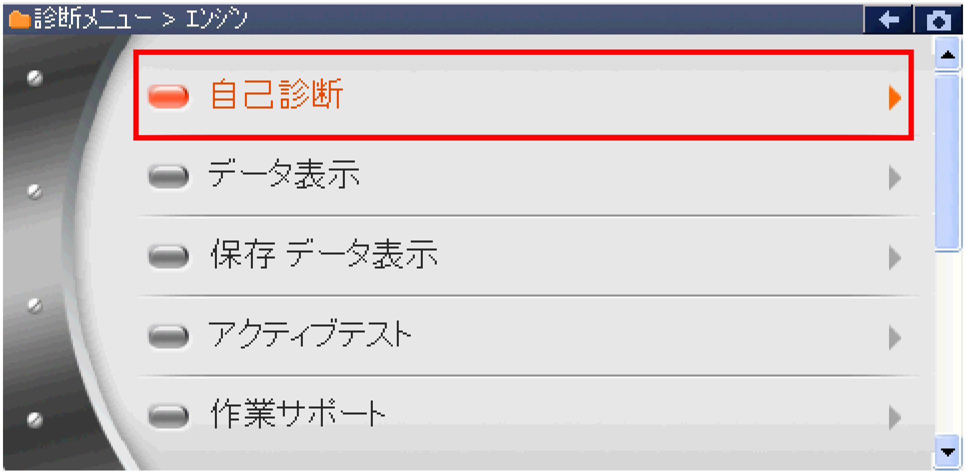
※注意と補足※

・　上記の診断メニューはエンジンを選択した例です。診断メニューに表示される診断機能は車種、システムによって異なります。

対応システムと機能の関係に関してはP6をご参照ください。

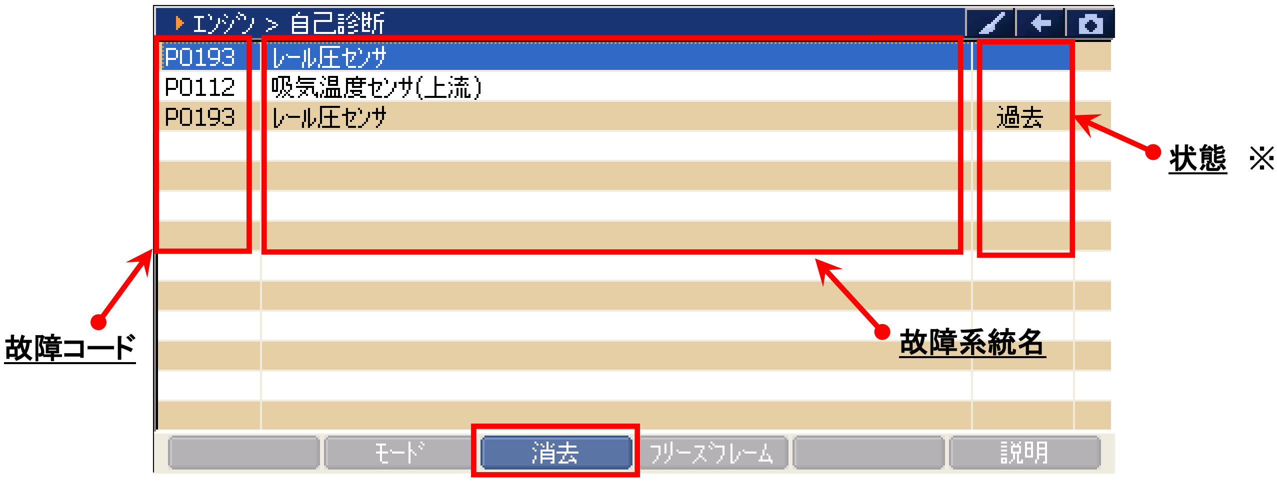
診断機能

1）診断メニューにおいて『自己診断』選択して、ENTER ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにて自己診断を選択〉

2）自己診断画面が表示され、記憶された故障コードが表示されます。



〈図：自己診断画面〉

故障コード ： SAEコード（例：P0113）が表示されます。

故障系統名 ： 故障系統名が表示されます。
故障内容の詳細に関しては、三菱ふそうのサービスマニュアルをご参照ください。

状態 ： 故障の検出状態を表示します。

「過去」 ：過去に発生した故障コードを検出したことを意味します。

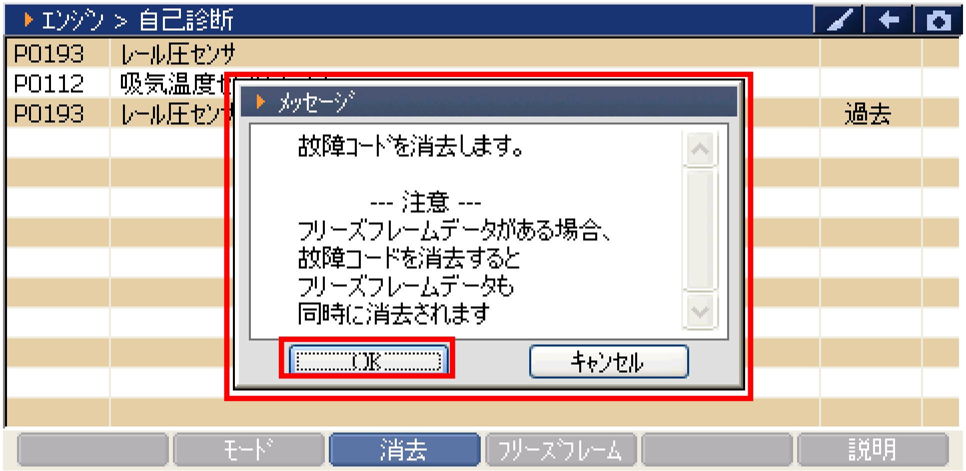
消去 自己診断記憶を消去します。【詳細はP31 3)を参照】

※注意と補足※

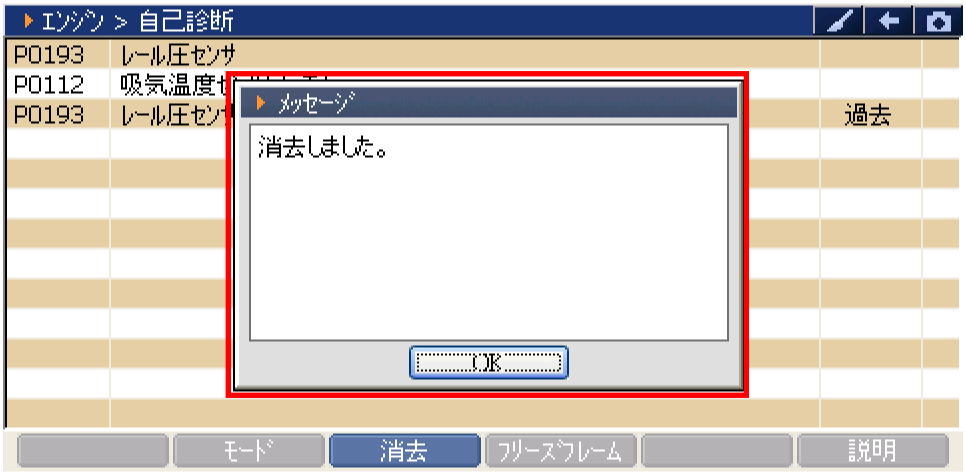
・ 自己診断画面の表示形式は診断するシステムによって異なります。

3) 消去 ボタンをタッチ、または F3 ボタンを押すと故障コードを消去します。

以下の画面が表示されますので、 OK ボタンをタッチして故障コードを消去してください。

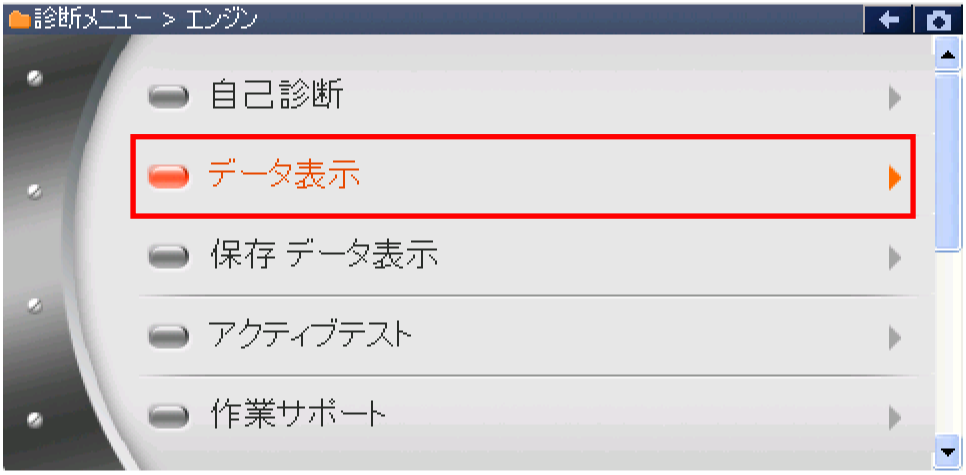


〈図:故障コードの消去〉



〈図:故障コードの消去完了〉

1）診断メニューにおいて『データ表示』を選択して　　　ボタンを押してください。



〈図：診断メニューにてデータ表示を選択〉

2）データ表示画面が表示され、リアルタイムなデータが数値で表示されます。



〈図：データ表示画面〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

単位 ： 単位が表示されます。

<< 前のページを表示します。

>> 次のページを表示します。

機能 最大最小値のリセットを行います。【詳細はP36を参照】

1画面詳細 1画面表示に切替えます。【詳細はP34 3)を参照】

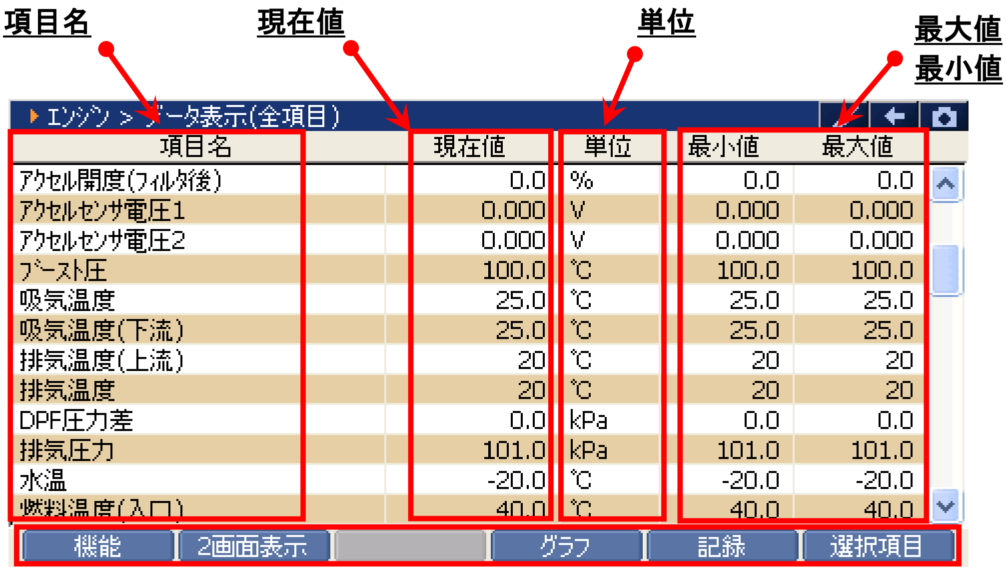
記録 データを記録します。【詳細はP40を参照】

選択項目 表示する項目を選択します。【詳細はP46を参照】

※注意と補足※

・ 表示される項目名は車種、システムによって異なります。

3） 1画面詳細 ボタンをタッチ、または F2 ボタンを押すと2画面で表示されていたデータを1画面に表示することができます。



項目名	現在値	単位	最小値	最大値
アクセル開度(フィルタ後)	0.0	%	0.0	0.0
アクセルセンサ電圧1	0.000	V	0.000	0.000
アクセルセンサ電圧2	0.000	V	0.000	0.000
ブースト圧	100.0	℃	100.0	100.0
吸気温度	25.0	℃	25.0	25.0
吸気温度(下流)	25.0	℃	25.0	25.0
排気温度(上流)	20	℃	20	20
排気温度	20	℃	20	20
DPF圧力差	0.0	kPa	0.0	0.0
排気圧力	101.0	kPa	101.0	101.0
水温	-20.0	℃	-20.0	-20.0
燃料温度(入口)	40.0	℃	40.0	40.0

〈図：データ表示画面　1画面表示〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

現在値 ： 現在値が表示されます。

単位 ： 単位が表示されます。

最大値/最小値 ： 最大値と最小値が表示されます。

機能　最大最小値のリセットを行います。【詳細はP36を参照】

2画面表示　2画面表示に切替えます。

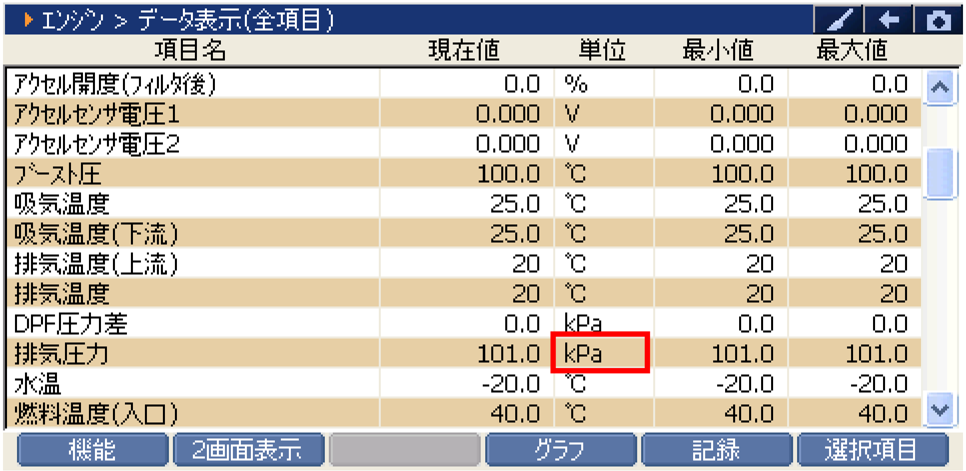
グラフ　数値で表示されているデータをグラフで表示します【詳細はP37を参照】

記録　データを記録します。【詳細はP40を参照】

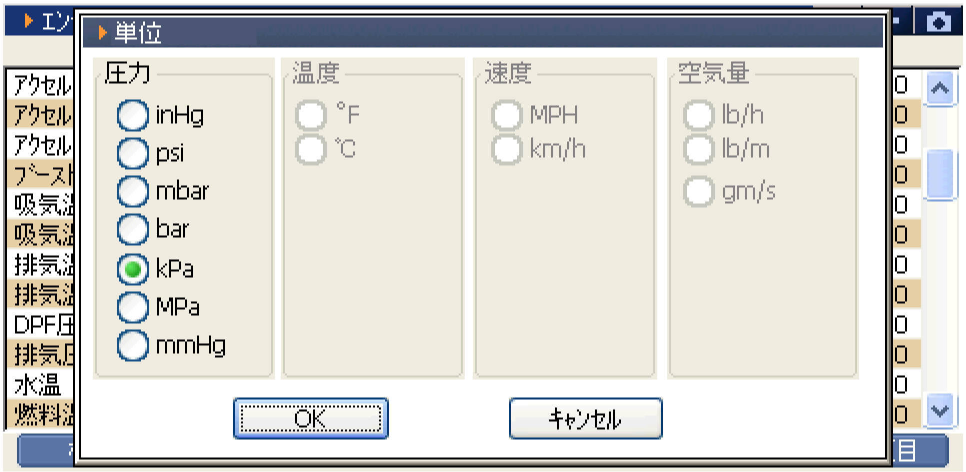
選択項目　表示する項目を選択します。【詳細はP46を参照】

※注意と補足※

・『圧力』、『速度』、『温度』、『空気量』に含まれる項目の場合、単位の部分をタッチすると以下の画面が表示され、単位を変更することができます。



〈図：単位をタッチ〉



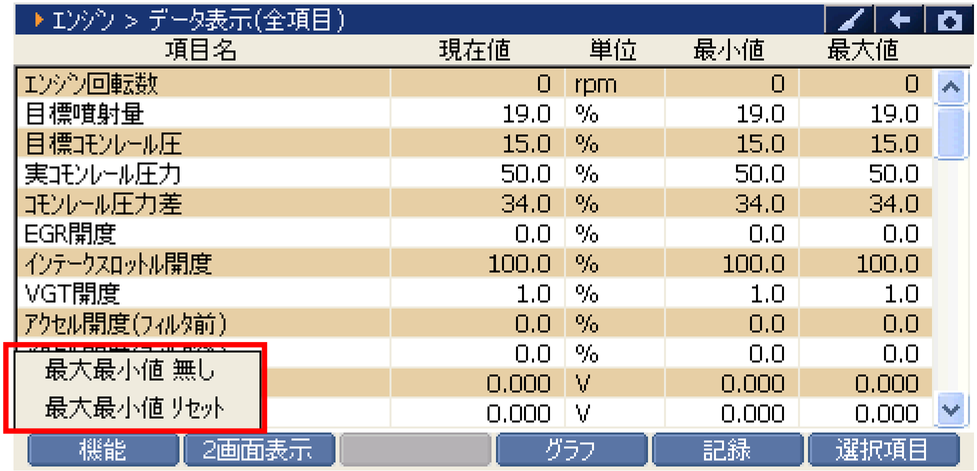
〈図：単位変更画面〉

■ 機能 ボタンの詳細

① 機能 ボタンをタッチ、または F1 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図：2画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉



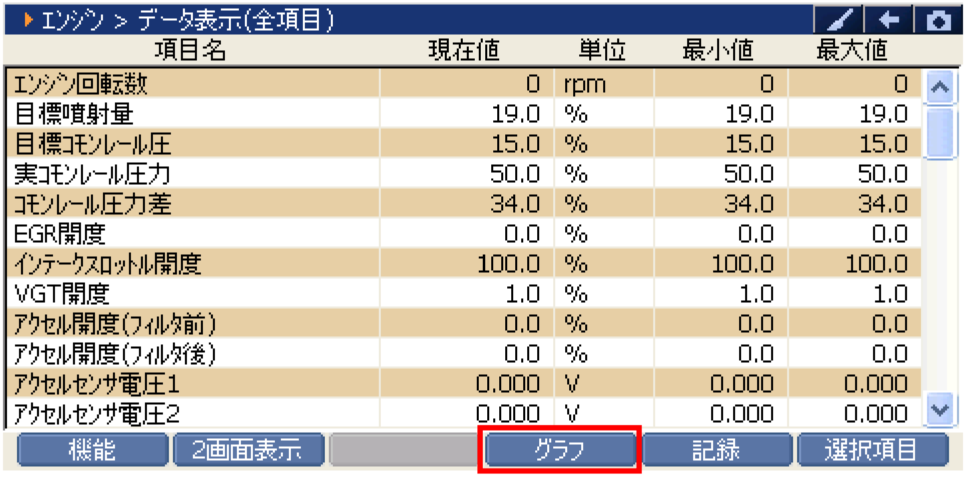
〈図：１画面表示状態で機能ボタンをタッチ〉

最大最小値無し ： 最大値、最小値の列を非表示にします。
『最大最小値無し』は１画面表示状態のみ表示されます。

最大最小値リセット ： 最大値、最小値をリセットします。

■ グラフ ボタンの詳細

① 1画面表示状態で画面下部の グラフ ボタンをタッチ、または F4 ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



▸エンジン ＞ データ表示(全項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
エンジン回転数	0	rpm	0	0
目標噴射量	19.0	%	19.0	19.0
目標コモンレール圧	15.0	%	15.0	15.0
実コモンレール圧力	50.0	%	50.0	50.0
コモンレール圧力差	34.0	%	34.0	34.0
EGR開度	0.0	%	0.0	0.0
インテークスロットル開度	100.0	%	100.0	100.0
VGT開度	1.0	%	1.0	1.0
アクセル開度(フィルタ前)	0.0	%	0.0	0.0
アクセル開度(フィルタ後)	0.0	%	0.0	0.0
アクセルセンサ電圧1	0.000	V	0.000	0.000
アクセルセンサ電圧2	0.000	V	0.000	0.000

機能 | 2画面表示 | グラフ | 記録 | 選択項目

〈図：1画面表示状態〉



〈図：グラフ表示画面〉

項目名　：　項目名が表示されます。

現在値　：　現在値が表示されます。

Max/Min　：　最大値/最小値が表示されます。

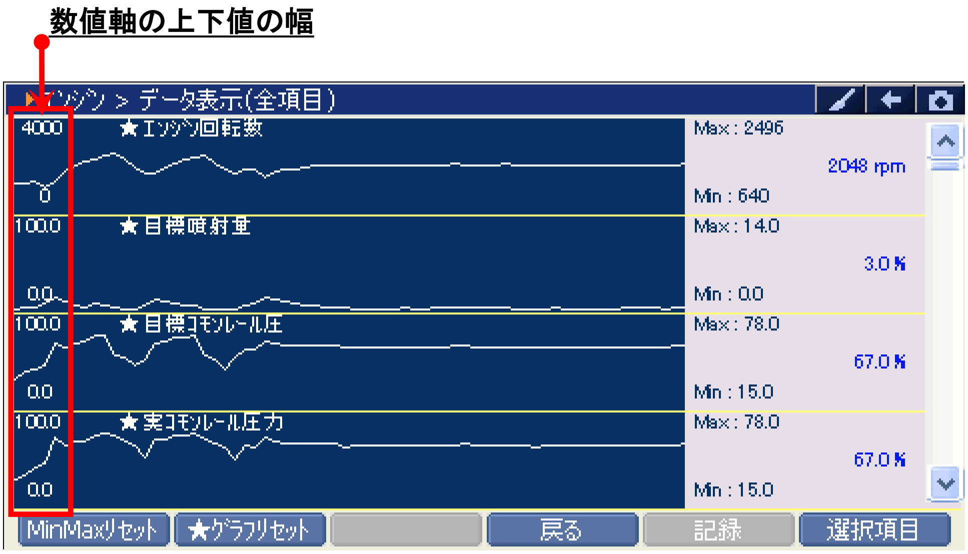
MinMaxリセット　最大値、最小値をリセットします。

★グラフリセット　グラフの数値軸の幅を最大値/最小値に合わせて補正します。【詳細はP38を参照】

戻る　数値表示に戻ります。

選択項目　表示する項目を選択します。【詳細はP46を参照】

② グラフ表示画面で画面下部の ★グラフリセット ボタンをタッチ、または F2 ボタンを押すと、グラフの縦軸である数値軸の上下値の幅が、グラフリセットを実行した時点の最大値/最小値に合わせた上下値の幅に補正されます。



〈図：グラフリセット前〉



〈図：グラフリセット後〉

※注意と補足※

- グラフリセットは、画面に表示している項目にのみ実行されます。
- 項目名の左に☆印が付いている項目のみグラフリセットに対応しています。

  その他の項目は、グラフリセットを実行しても上下値の補正は行われません。

■ 記録 ボタンの詳細

① 記録 ボタンをタッチ、または FS ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図：2画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉



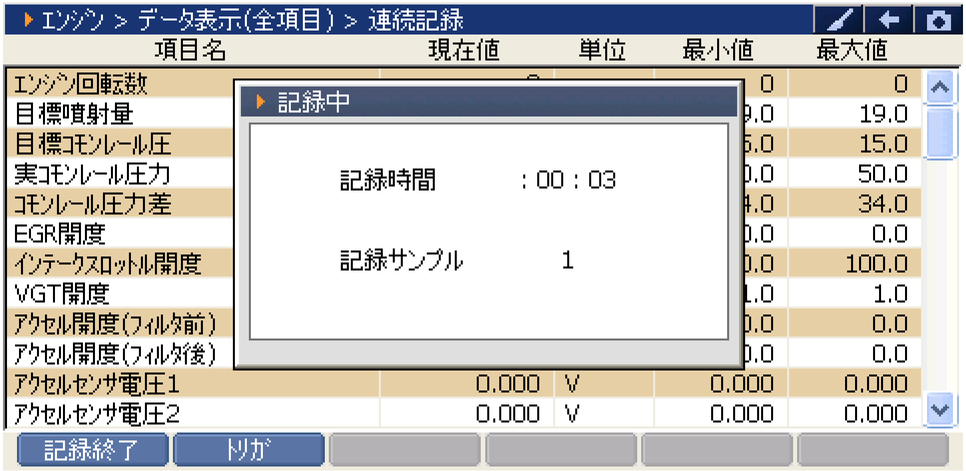
〈図：1画面表示状態で記録ボタンをタッチ〉

単一記録 ： 1サンプル分のデータを記録します。【詳細はP41 ②を参照】

連続記録 ： 連続したサンプルのデータを記録します。【詳細はP44 ⑥を参照】
最大記録時間は60分です。

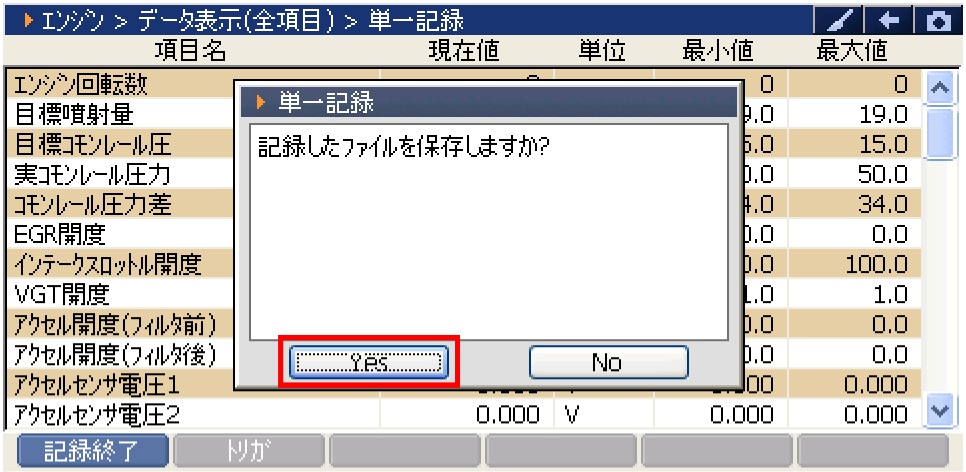
② 『単一記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『単一記録』では1サンプル分のデータを記録します。



〈図:単一記録で記録中〉

③ 記録が終了すると以下の画面が表示されます。Yes を選択してファイルを保存してください。No を選択した場合、記録したデータは失われ閲覧することはできません。



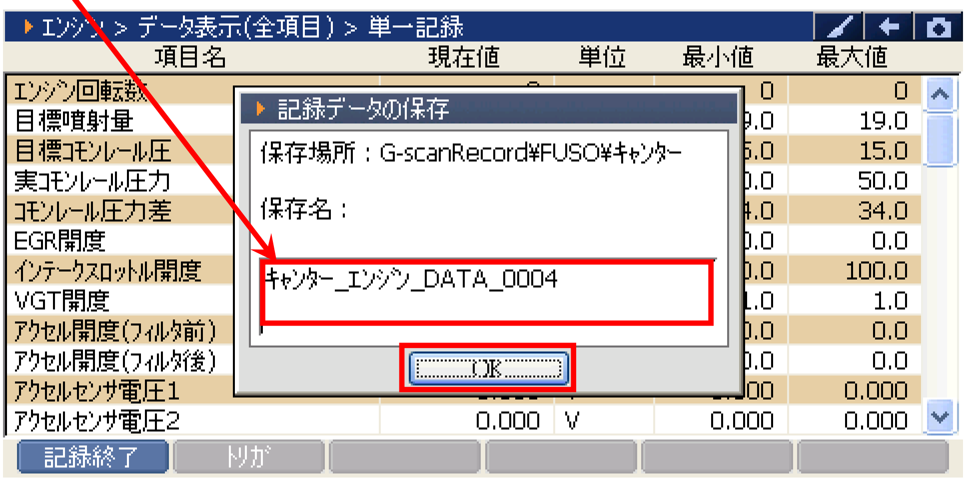
〈図:記録完了後ファイルの保存確認〉

④　保存ファイル名の確認画面が表示されます。

よろしければ、 OK をタッチして記録データを保存してください。

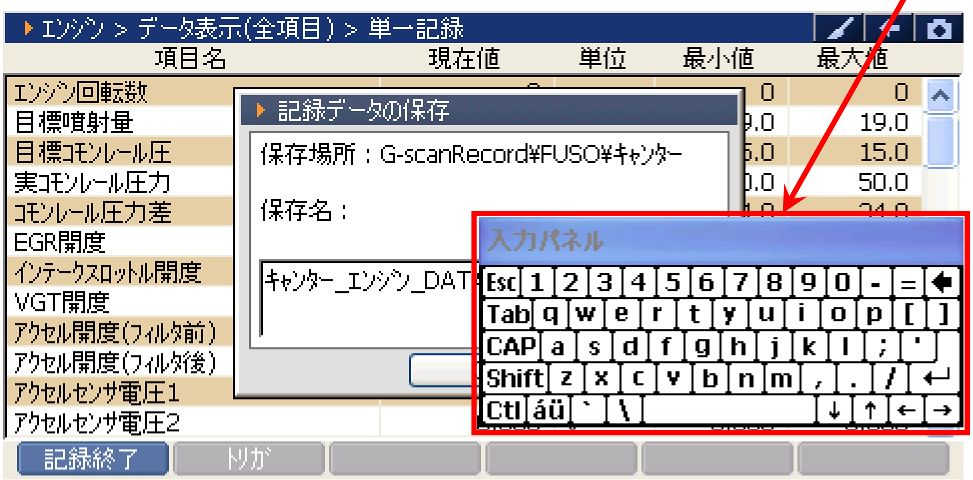
ファイル名を変更する場合は、ファイル名が表示されている部分をタッチしてください。入力パネルが表示されます。入力パネルを操作してファイル名を変更してください。

ファイル名を変更する場合は
タッチしてください



〈図：保存ファイル名の確認〉

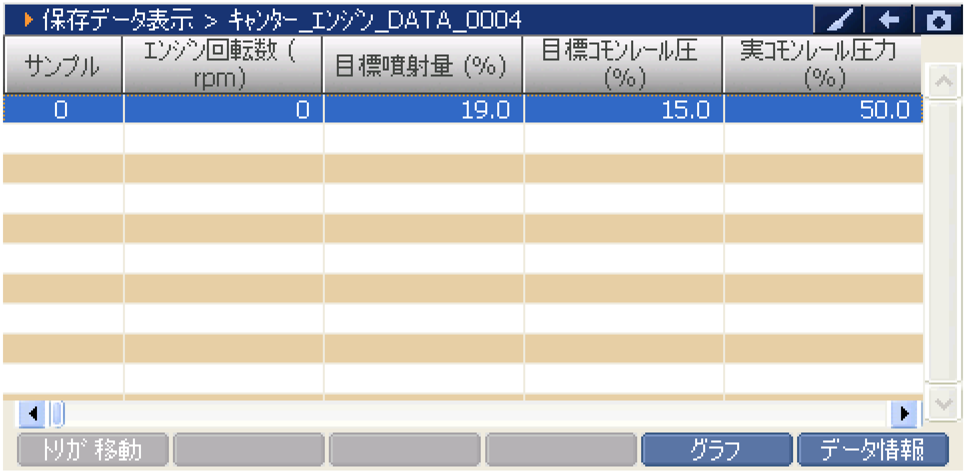
入力パネル



〈図：保存ファイル名の変更〉

⑤ ファイルの保存が完了すると、記録したデータが表示されます。

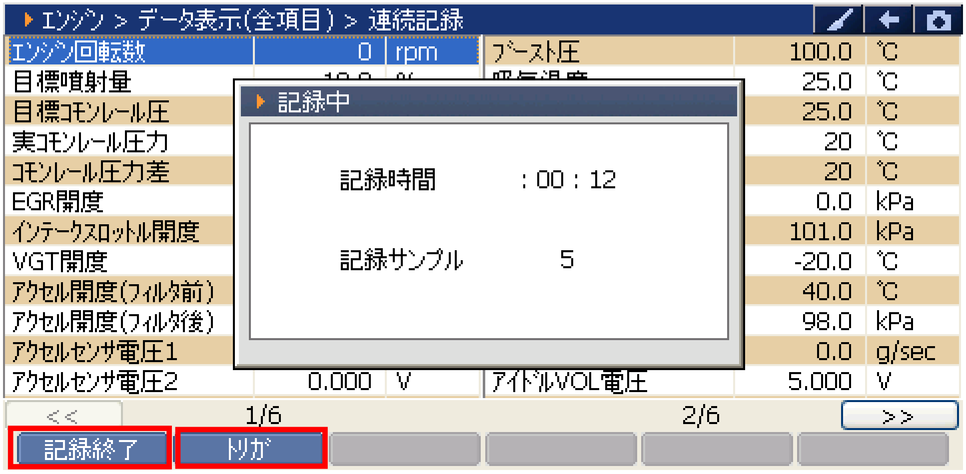
詳細に関してはP49をご参照ください。



〈図：保存データ表示画面〉

⑥ 『連続記録』を選択すると、データの記録が開始されます。

『連続記録』では、連続したサンプルのデータを記録します。

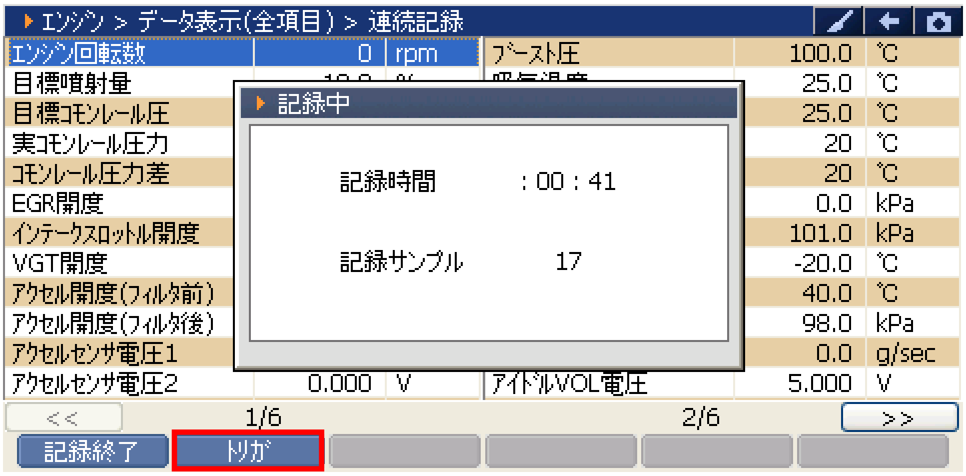


〈図:連続記録で記録中〉

トリガ　トリガ機能を使用します。【詳細は⑦を参照】

記録終了　記録を終了します。【詳細はP45 ⑧を参照】

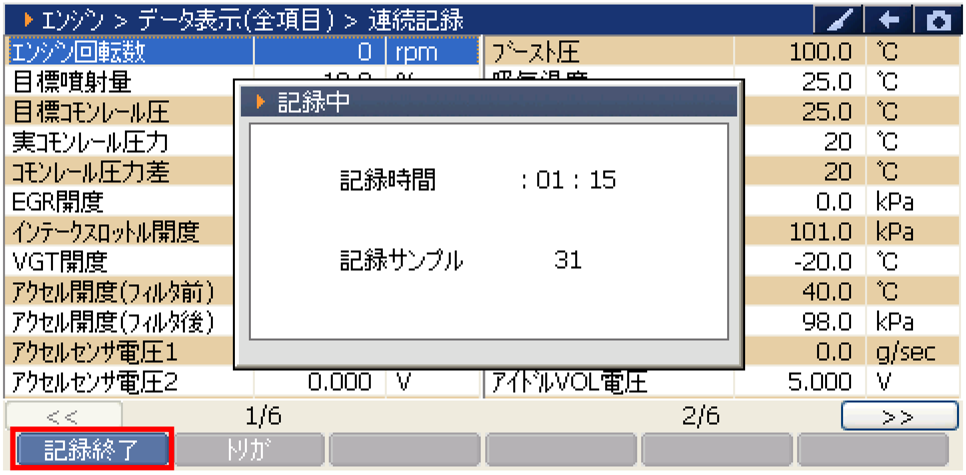
⑦ 記録中に トリガ ボタンをタッチ、または F2 ボタンを押すとトリガ機能を使用することができます。トリガ機能を使用するとトリガ前(−1.−2.−3サンプル……)、トリガ後(1.2.3サンプル……)のデータを記録することができます。



〈図:トリガボタンを選択〉

⑧　記録を終了する場合は、記録終了 ボタンをタッチまたは F1 ボタンを押してください。尚、トリガ機能を使用しない場合、記録開始から記録終了まで(0サンプル～……)のデータを記録します。

記録終了後、記録したファイルを保存してください。ファイルの保存に関してはP41 ③、P42 ④をご参照ください。



〈図：記録終了〉

⑨　ファイルの保存が完了すると記録したデータが表示されます。

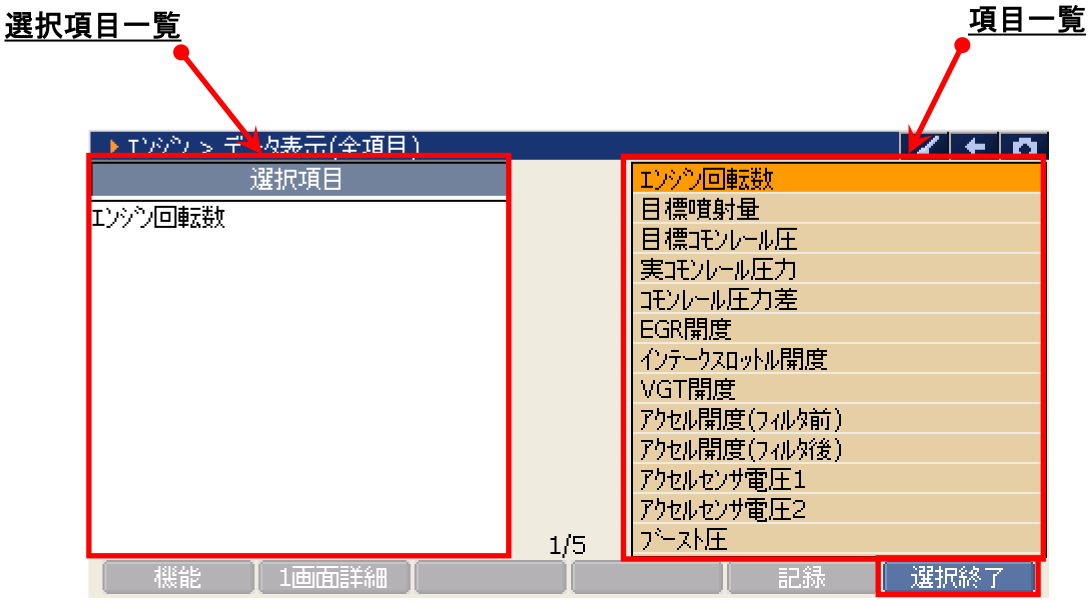
詳細に関してはP49をご参照ください。



〈図：保存データ表示画面〉

■ 選択項目 ボタンの詳細

① 選択項目 ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



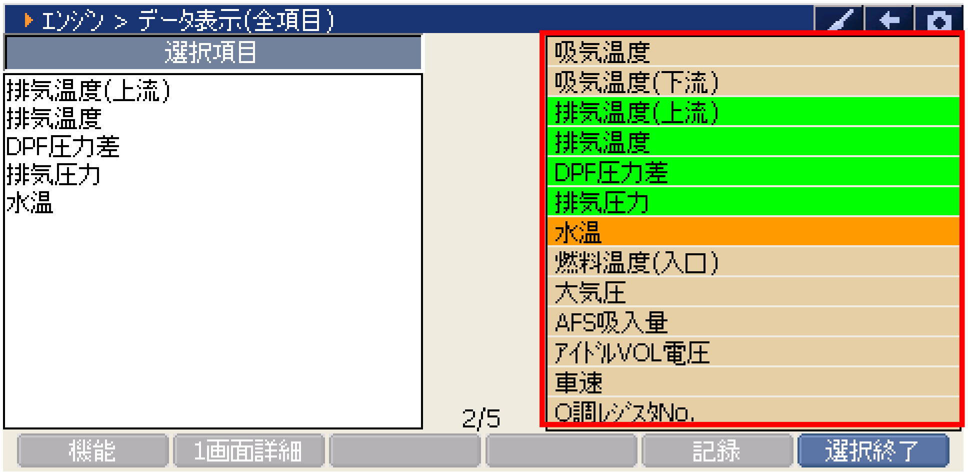
〈図：表示項目の選択〉

選択項目一覧 ： 項目名が表示されます。

項目一覧 ： 項目一覧が表示されます。

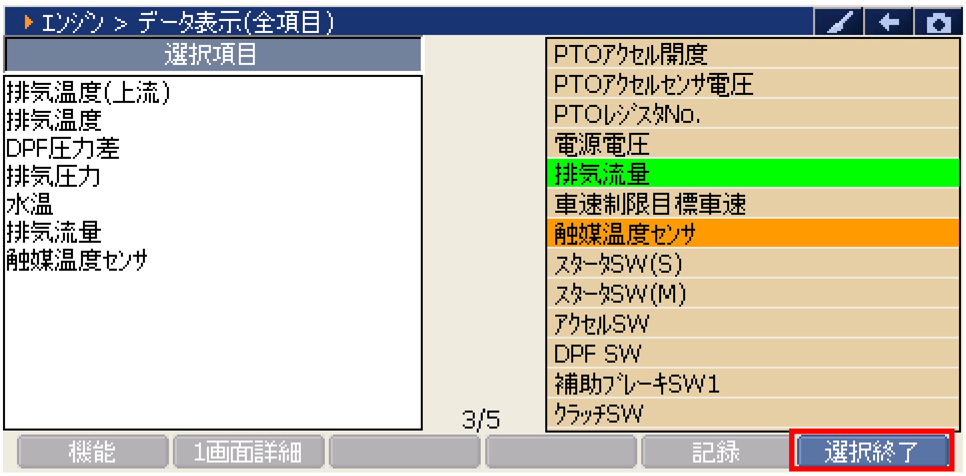
選択終了 選択を終了します。

② 項目一覧から、表示する項目を選択します。選択する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。◀ ▶ ボタンを押すと次のページを表示します。尚、選択できる項目は最大で12項目です。



〈図:表示項目の選択〉

③ 項目の選択を終了する場合は、選択終了 ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押してください。

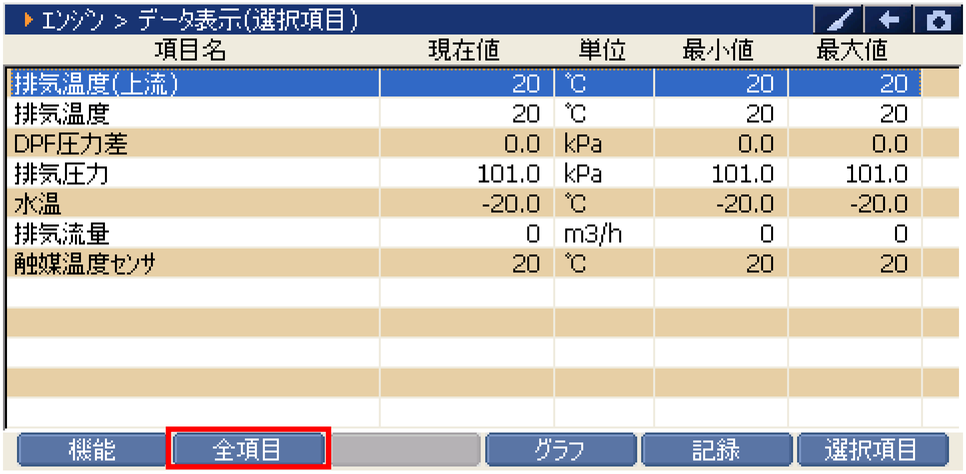


〈図:選択の終了〉

④　データ表示画面に選択した項目が表示されます。

全項目の表示に戻す場合は、全項目ボタンをタッチ、または F2 ボタンを

押してください。



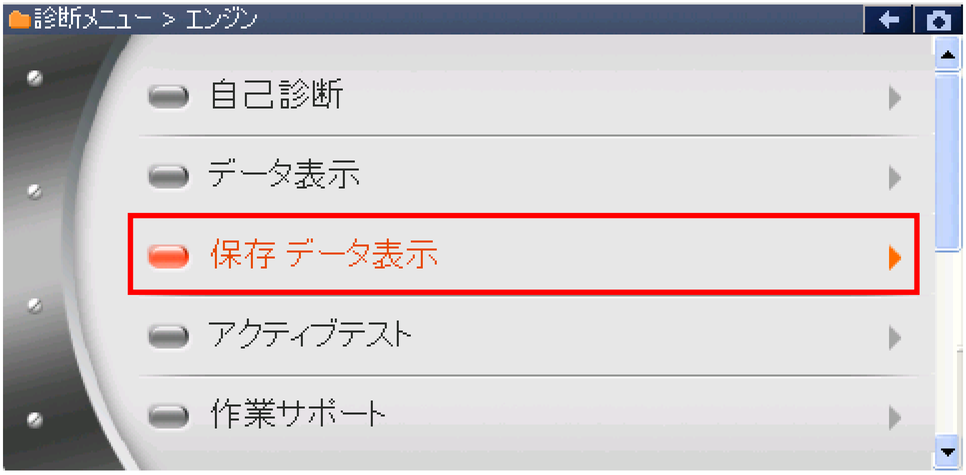
▶エンジン > データ表示(選択項目)

項目名	現在値	単位	最小値	最大値
排気温度(上流)	20	℃	20	20
排気温度	20	℃	20	20
DPF圧力差	0.0	kPa	0.0	0.0
排気圧力	101.0	kPa	101.0	101.0
水温	-20.0	℃	-20.0	-20.0
排気流量	0	m3/h	0	0
触媒温度センサ	20	℃	20	20

〈図：選択項目の表示〉

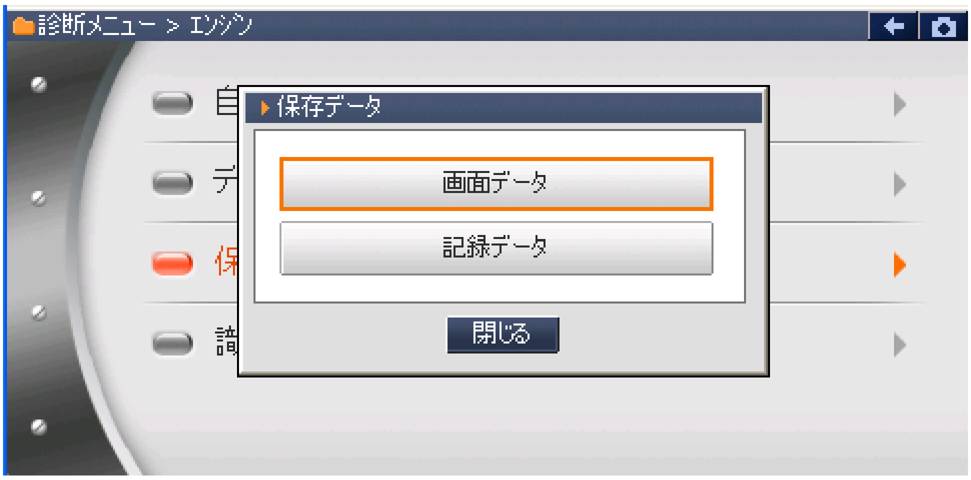
保存データ表示機能

1) 保存データ表示機能ではデータ表示機能で記録、保存したデータを表示することができます。診断メニューにおいて『保存データ表示』を選択して ENTER ボタンを押してください。



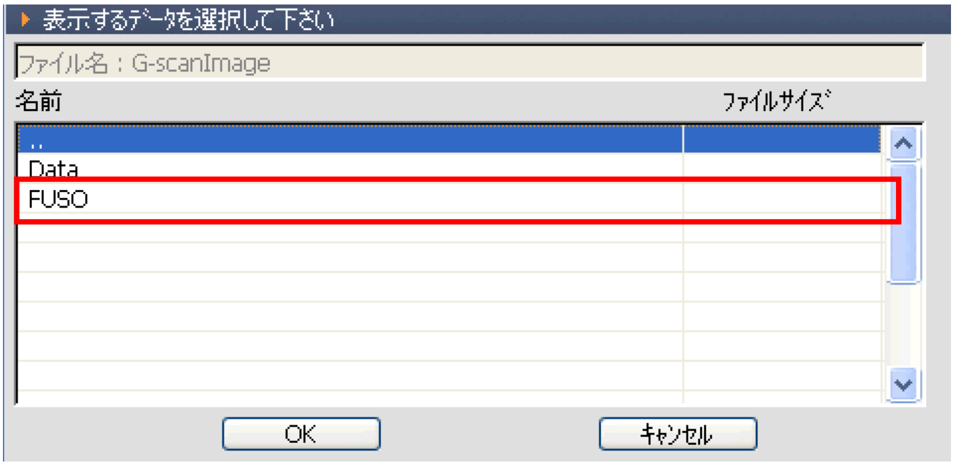
〈図：診断メニューにて保存データ表示を選択〉

2) 保存データを選択すると、下記のように表示されます。画面データ、記録データのいずれかを選択してください。次に画面データを選択した場合の説明をします。



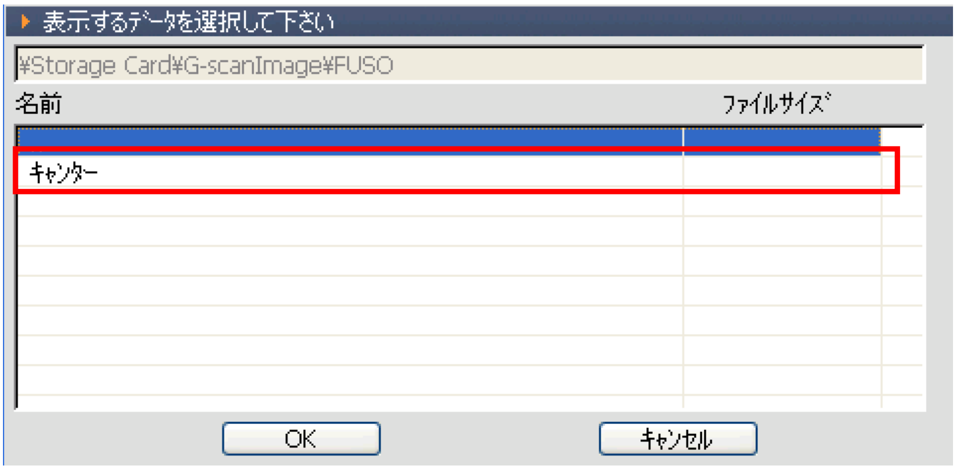
〈図：保存データ表示を選択した後の画面〉

3) 画面データを選択すると、下記のように表示されます。保存されている画面データのメーカのフォルダが表示されます。ここでは、FUSOを選択した場合を説明します。



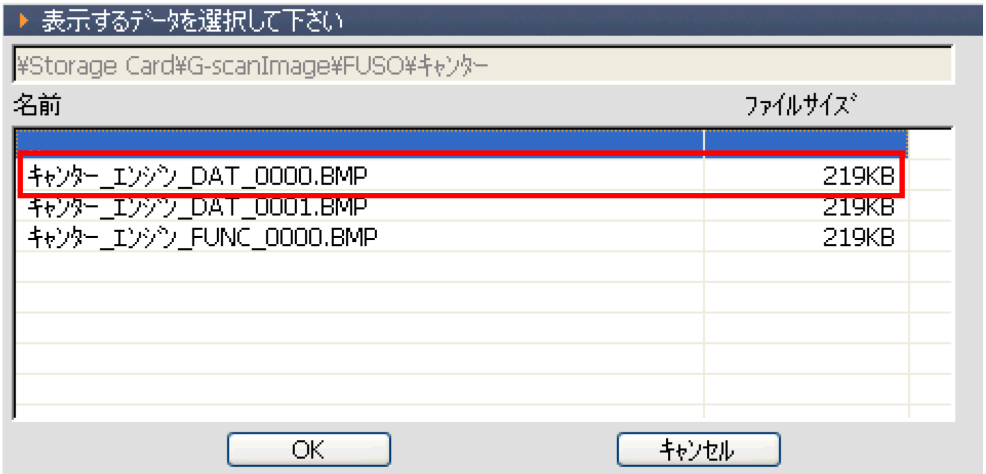
〈図：画面データ表示を選択した後の画面〉

4) FUSOを選択すると、保存されている車種名のフォルダが表示されます。ここでは、キャンターを選択します。



〈図：画面データ表示を選択した後の画面〉

5) 保存されているデータが表示されます。表示するデータを選択してください。



〈図：保存されている画面データの選択画面〉

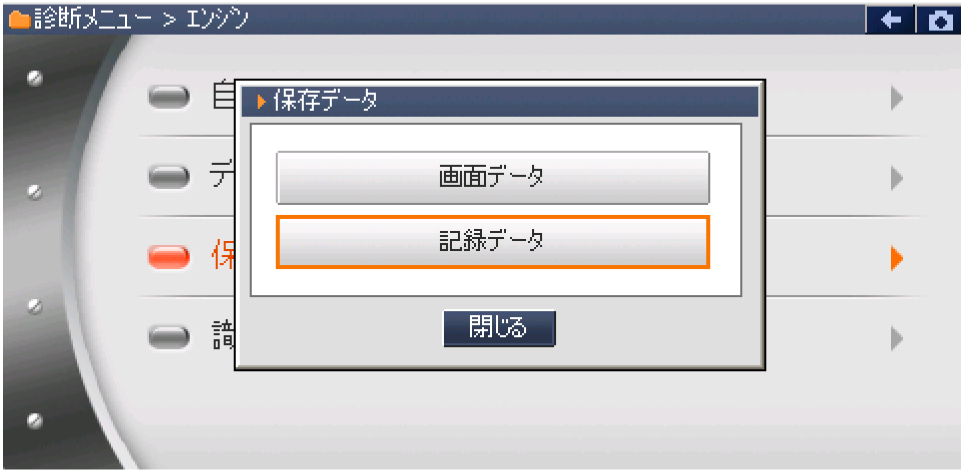
6) データを選択すると、下記のように表示されます。


ｴﾝｼﾞﾝ > データ表示(全項目)

ｴﾝｼﾞﾝ回転数	0	rpm	吸気温度	25.0	℃
目標噴射量	44.0	%	吸気温度(下流)	25.0	℃
目標ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧	18.0	%	排気温度(上流)	20	℃
実ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧力	50.00	%	排気温度	20	℃
ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧力差	31.0	%	DPF圧力差	0.0	kPa
EGR開度	0.0	%	排気圧力	101.0	kPa
ｲﾝﾃｰｸｽﾛｯﾄﾙ開度	100.0	%	水温	-20.0	℃
ｱｸｾﾙ開度(ﾌｨﾙﾀ前)	0.0	%	燃料温度(入口)	40.0	℃
ｱｸｾﾙ開度(ﾌｨﾙﾀ後)	0.0	%	大気圧	100.0	kPa
ｱｸｾﾙｾﾝｻ電圧1	0.000	V	AFS吸入量	0.0	g/sec
ｱｸｾﾙｾﾝｻ電圧2	0.000	V	ｱｲﾄﾞﾙVOL電圧	5.000	V
ﾌﾞｰｽﾄ圧	100.0	kPa	車速	0	Km/h

〈図：保存されている画面データの選択画面〉

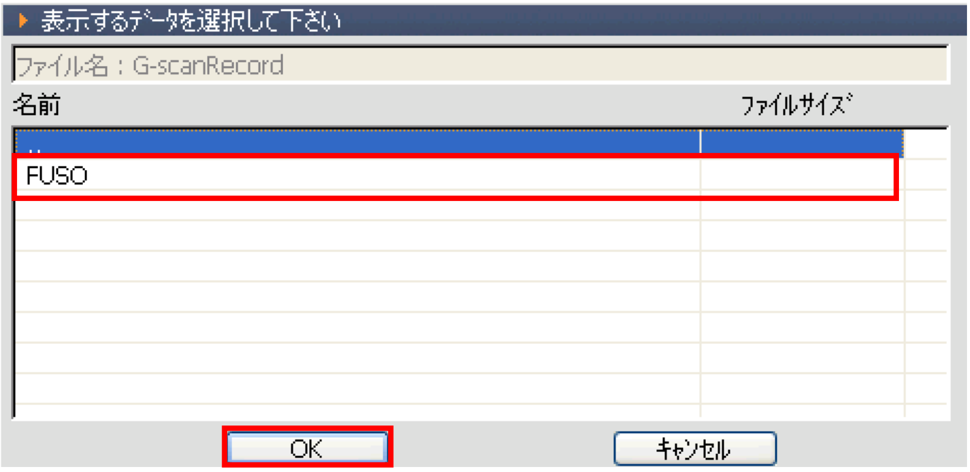
7) 記録データを選択した時の説明をします。記録データを選択してください。



〈図：記録データの選択〉

8) 保存フォルダの選択画面が表示されるので、『FUSO』フォルダを選択して

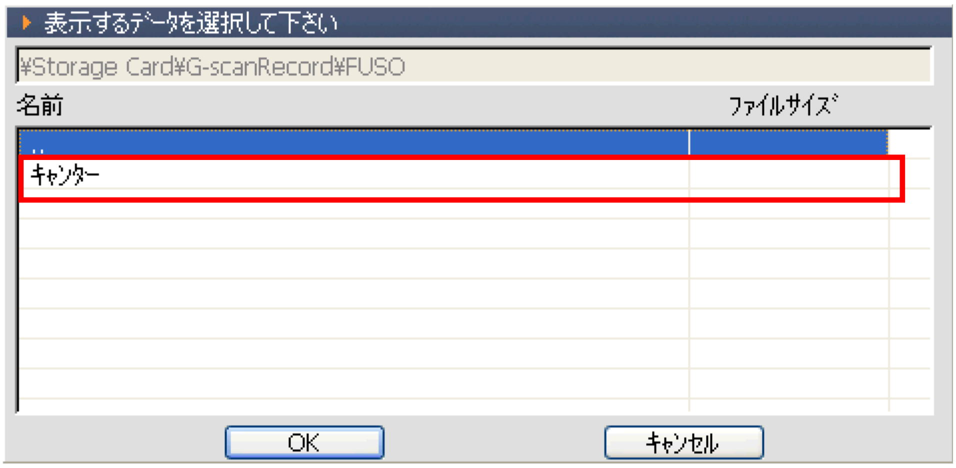
OK ボタンをタッチしてください。



〈図：メーカフォルダの選択〉

9) 車種名が記載されたフォルダの一覧が表示されます。

フォルダを選択して OK ボタンをタッチしてください。更に、保存ファイル名の一覧が表示されます。表示するファイル名を選択して OK ボタンをタッチしてください。

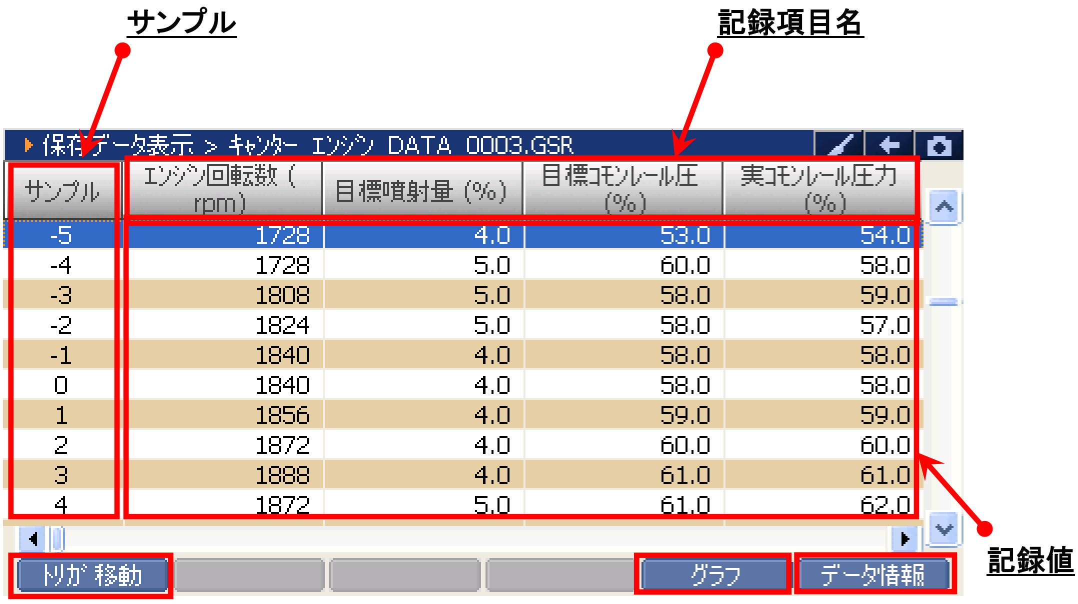


〈図：車種名フォルダの選択〉



〈図：保存ファイル一覧〉

10) データ表示で保存したデータが表示されます



〈図：保存データ表示画面〉

サンプル ： 記録数が表示されます。

記録項目名 ： 項目名が表示されます。
項目名の部分をタッチすると、横にスクロールした際その項目が固定されます。

記録値 ： 値が表示されます。

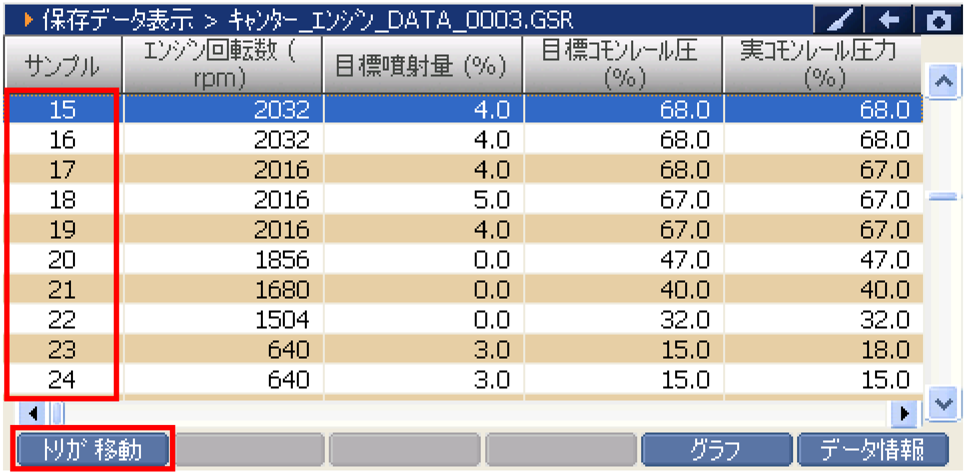
トリガ 移動　0サンプル位置に移動します。【詳細はP55を参照】

グラフ　記録したデータをグラフで表示します。【詳細はP56を参照】

データ情報　保存したデータの情報を表示します。【詳細はP59を参照】

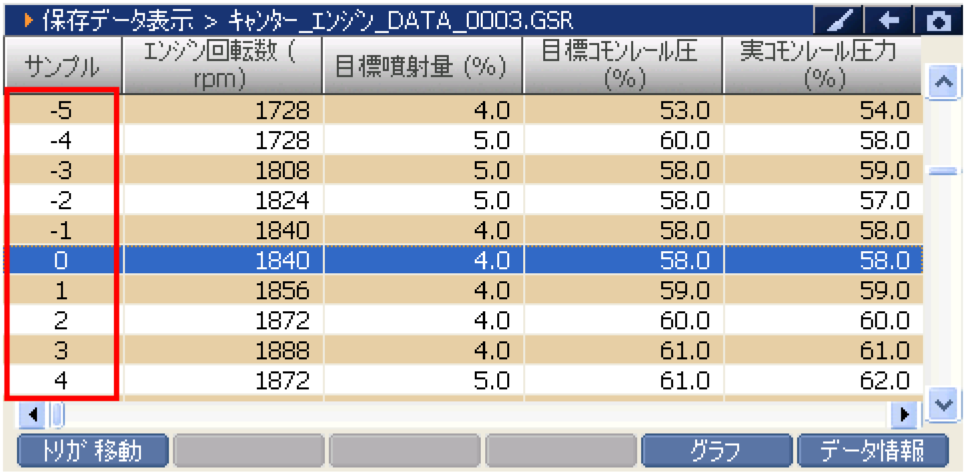
■ ﾄﾘｶﾞ 移動 ボタンの詳細

① ﾄﾘｶﾞ 移動 ボタンをタッチ、または FI ボタンを押すと0サンプルの位置に移動します。



サンプル	ｴﾝｼﾞﾝ回転数（rpm）	目標噴射量（%）	目標ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧（%）	実ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧力（%）
15	2032	4.0	68.0	68.0
16	2032	4.0	68.0	68.0
17	2016	4.0	68.0	67.0
18	2016	5.0	67.0	67.0
19	2016	4.0	67.0	67.0
20	1856	0.0	47.0	47.0
21	1680	0.0	40.0	40.0
22	1504	0.0	32.0	32.0
23	640	3.0	15.0	18.0
24	640	3.0	15.0	15.0

〈図：トリガ移動ボタンを選択〉

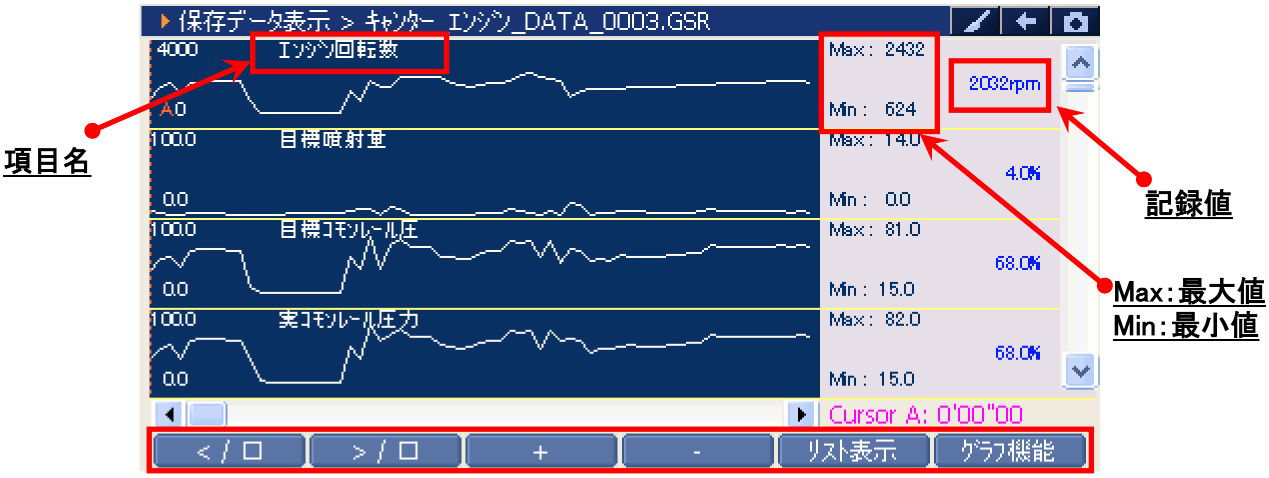


サンプル	ｴﾝｼﾞﾝ回転数（rpm）	目標噴射量（%）	目標ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧（%）	実ｺﾓﾝﾚｰﾙ圧力（%）
-5	1728	4.0	53.0	54.0
-4	1728	5.0	60.0	58.0
-3	1808	5.0	58.0	59.0
-2	1824	5.0	58.0	57.0
-1	1840	4.0	58.0	58.0
0	1840	4.0	58.0	58.0
1	1856	4.0	59.0	59.0
2	1872	4.0	60.0	60.0
3	1888	4.0	61.0	61.0
4	1872	5.0	61.0	62.0

〈図：0サンプル位置に移動〉

■ グラフ ボタンの詳細

① グラフ ボタンをタッチ、または F4 ボタンを押すと数値で表示されていたデータがグラフで表示されます。



〈図 : 記録データのグラフ表示〉

項目名 ： 項目名が表示されます。

記録値 ： カーソルA上の値が表示されます。

最大値/最小値 ： 最大値、最小値が表示されます。

< / □ グラフを左に送ります。

> / □ グラフを右に送ります。

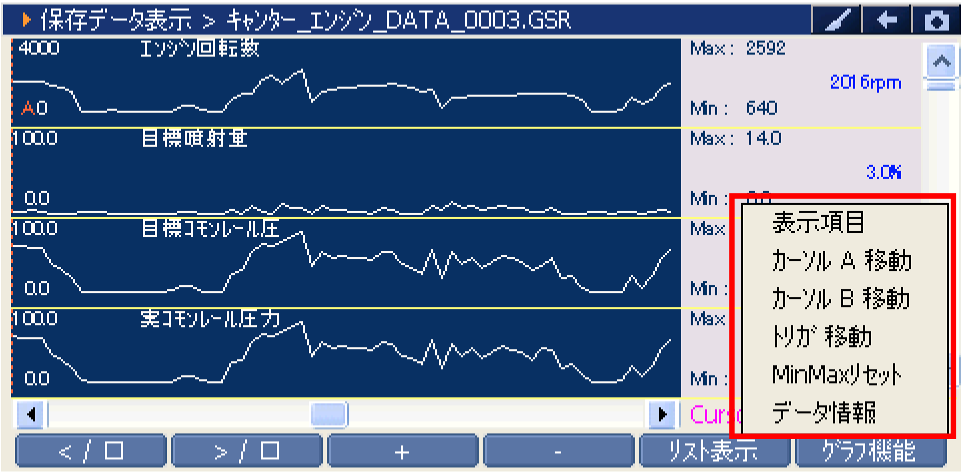
\+ グラフを拡大します。

\- グラフを縮小します。

リスト表示 数値表示に戻ります。

グラフ機能 グラフ機能を使用します。【詳細はP57 ②を参照】

② グラフ機能 ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押すと以下の画面が表示されます。



〈図:グラフ機能の詳細〉

表示項目 ： 表示する項目を選択します。【詳細は③を参照】

カーソルA移動 ： コントロールをカーソルAに移動します。【詳細はP58 ④を参照】

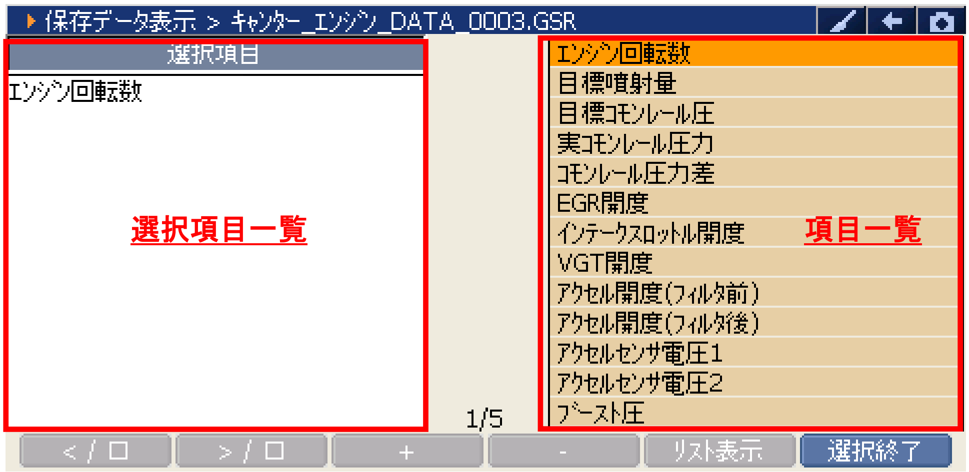
カーソルB移動 ： コントロールをカーソルBに移動します。【詳細はP58 ⑤を参照】

トリガ移動 ： カーソルAをトリガ位置（0サンプルの位置）に移動します。

MinMaxリセット ： 最大値、最小値をリセットします。

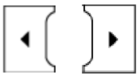
データ情報 ： 保存したデータ情報を表示します。【詳細はP59 ①を参照】

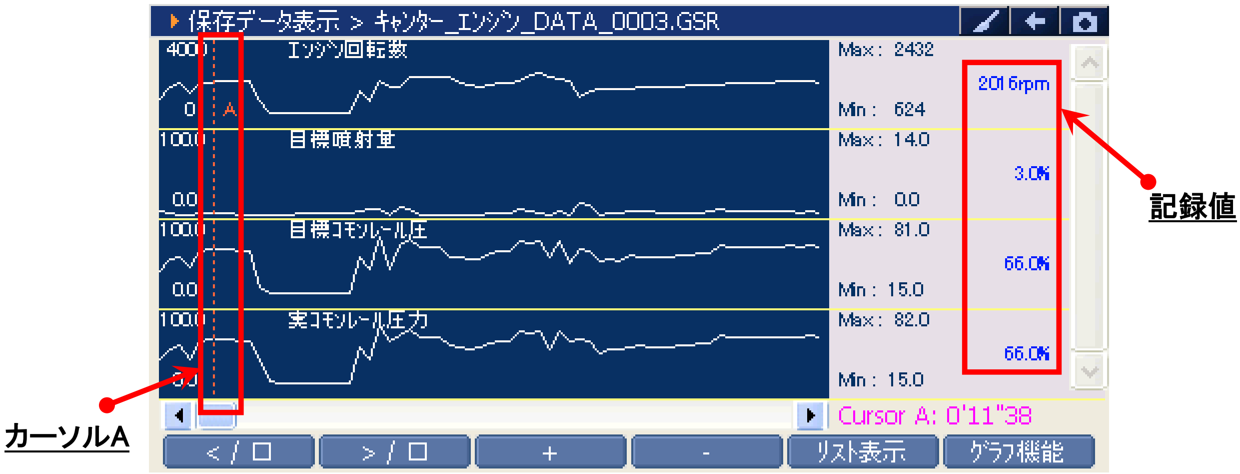
③ 『表示項目』を選択すると以下の画面が表示されますので、項目一覧から表示する項目にカーソルを合わせ ENTER ボタンを押して表示する項目を選択してください。 ◀ ▶ ボタンでページ移動します。 最大で12項目を選択可能です。



〈図:表示項目の選択〉

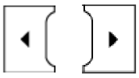
④ 『カーソルA移動』を選択するとカーソルAにコントロールが移ります。

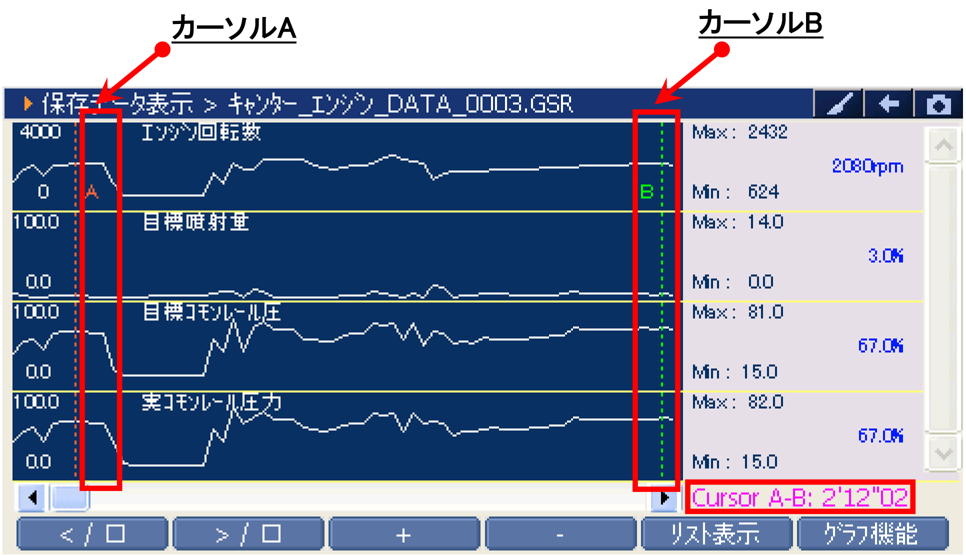
 ボタンを押して、カーソルAを移動させてください。カーソルA上にある値が、記録値に表示されます。



〈図:カーソルAの移動〉

⑤ 『カーソルB移動』を選択するとカーソルBにコントロールが移ります。

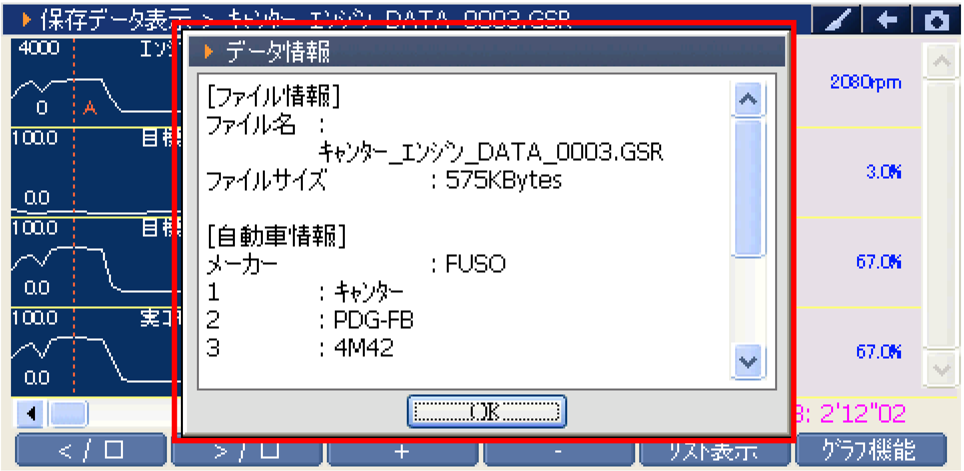
 ボタンを押して、カーソルBを移動させてください。画面右下にカーソルAからカーソルBまでの時間が表示されます。



〈図:カーソルBを移動選択〉

■ データ情報 ボタンの詳細

① データ情報 ボタンをタッチ、または F6 ボタンを押すか グラフ機能 内の『データ情報』をタッチするとデータ情報画面が表示されます。データ情報画面では現在表示している保存データの詳細を表示します。

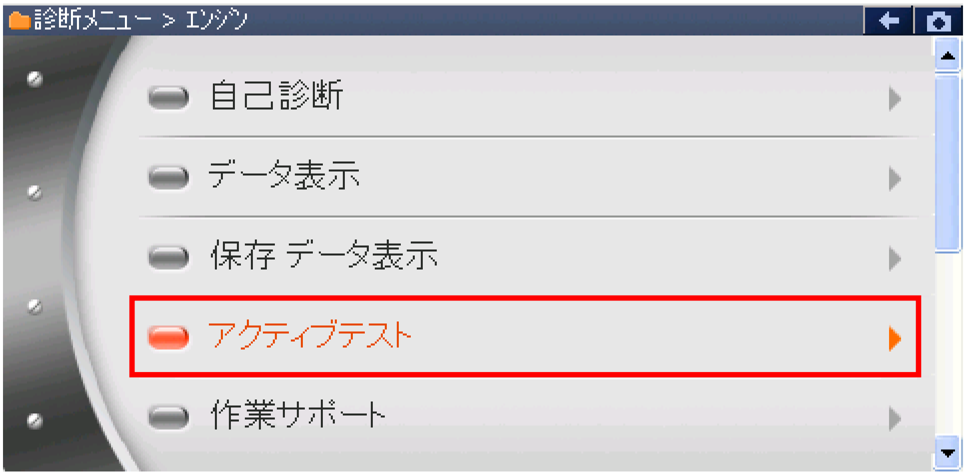


〈図:データ情報画面〉

警告

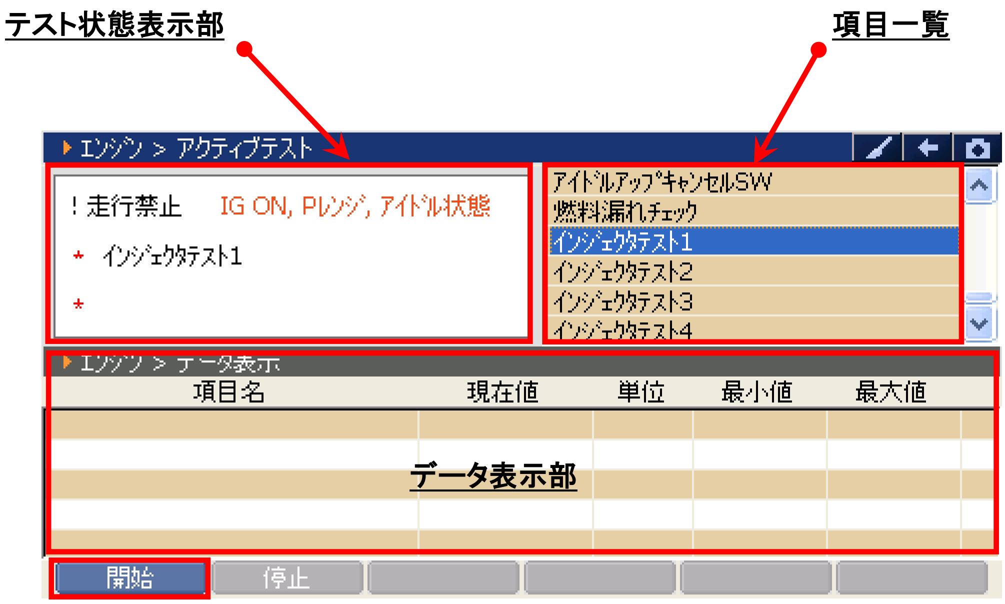
- アクティブテストは三菱ふそうのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- アクティブテストは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- アクティブテストを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合はアクティブテストを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1）診断メニューにおいて『アクティブテスト』を選択して ENTER ボタンを押して下さい。



〈図：診断メニューにてアクティブテストを選択〉

2）アクティブテスト画面が表示されます。



〈図：アクティブテスト画面〉

テスト状態表示部 ： テスト状態が表示されます。

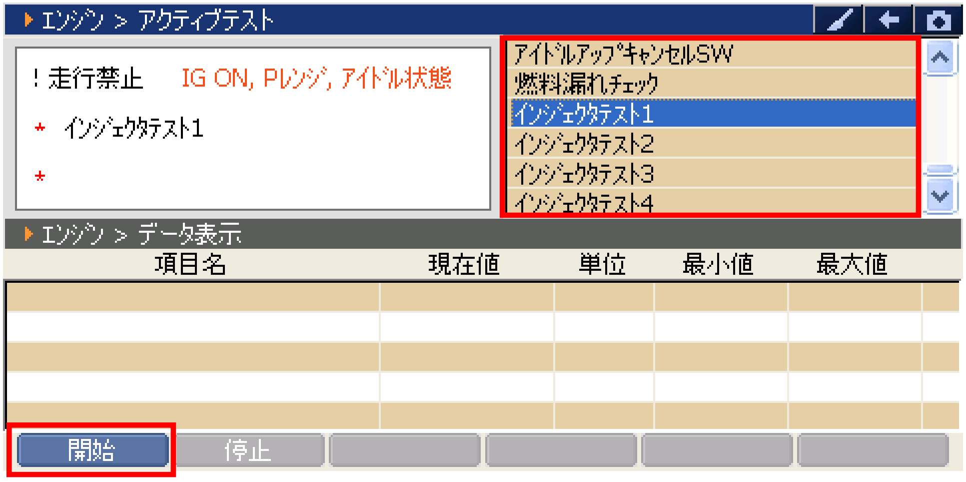
項目一覧 ： アクティブテスト項目の一覧が表示されます。

データ表示部 ： アクティブテスト中のデータが表示されます。



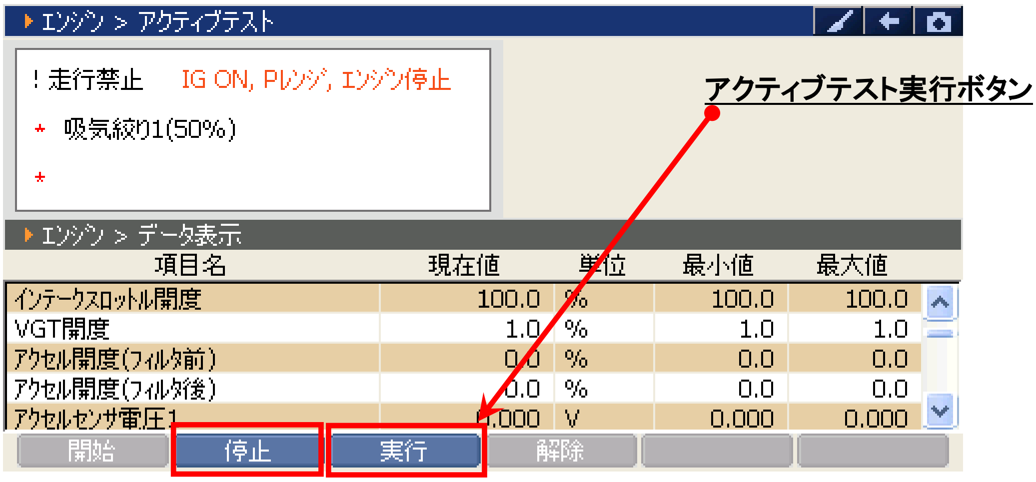
アクティブテストを開始します。【詳細はP62 3)を参照】

3) アクティブテスト項目一覧の中から実行する項目を選択して、 開始 ボタンをタッチ、または F1 ボタンを押してください。

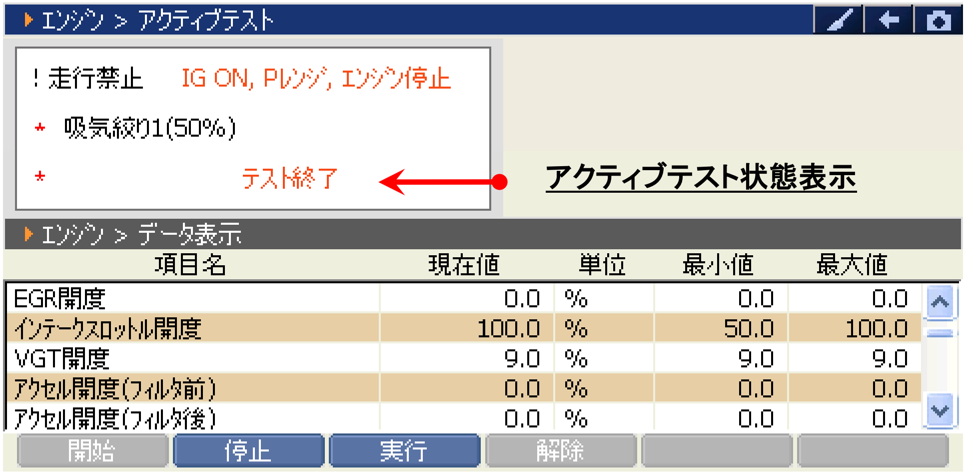


〈図:アクティブテスト画面〉

4) アクティブテストが開始されます。アクティブテスト実行ボタンを操作してアクティブテストを行ってください。アクティブテストを停止する場合は 停止 、 解除 ボタンをタッチ、または F2 ボタンを押してください。



〈図:アクティブテスト開始〉



〈図：アクティブテスト実行〉

※注意と補足※

アクティブテストにはテスト条件がある項目があります。

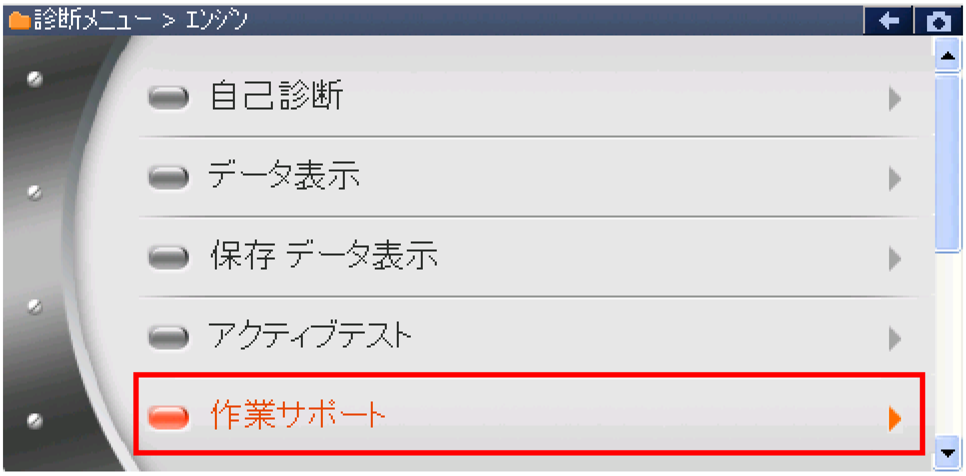
テスト条件から外れた場合、テスト状態表示部に『テスト失敗』と表示されます。

『テスト失敗』と表示された場合、車両のテスト条件を満たした状態にして、再度アクティブテストを実行してください。

警告

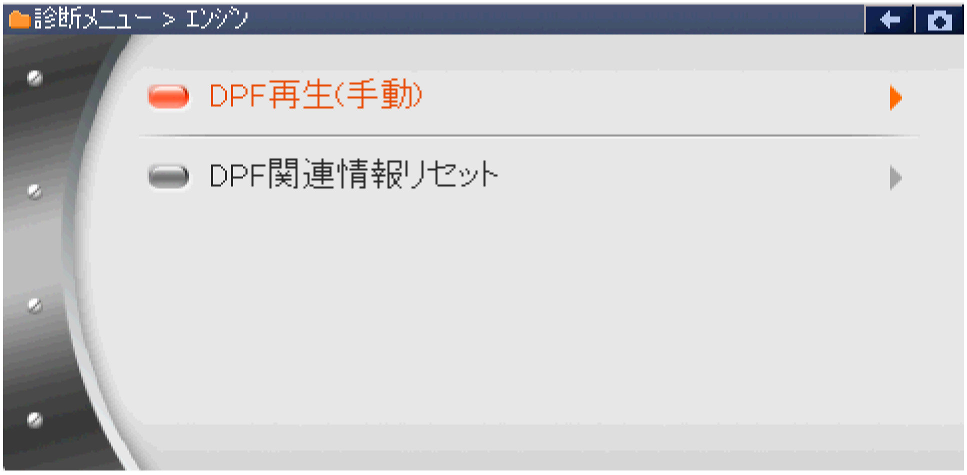
- 作業サポートは三菱ふそうのサービスマニュアルにより各システムの駆動システム、制御内容を十分に理解した上で行ってください。
- 使用方法を間違えると車両に悪影響をおよぼし、事故発生の原因となる恐れがあります。
- 作業サポートは車両が正常な状態（ウォーニングランプ消灯時、故障未検出時）で実行してください。
- 作業サポートを実行する場合は必ず車両を以下の状態にしてください。
  車両をこの状態にできない場合は作業サポートを実行しないでください。
  1. 車両停止状態。（パーキングブレーキをかけて、輪留めをする）
  2. ブレーキペダルを踏込む。
  3. ギア位置はPレンジまたはNレンジにする。

1）診断メニューにおいて『作業サポート』を選択して ENTER ボタンを押してください。

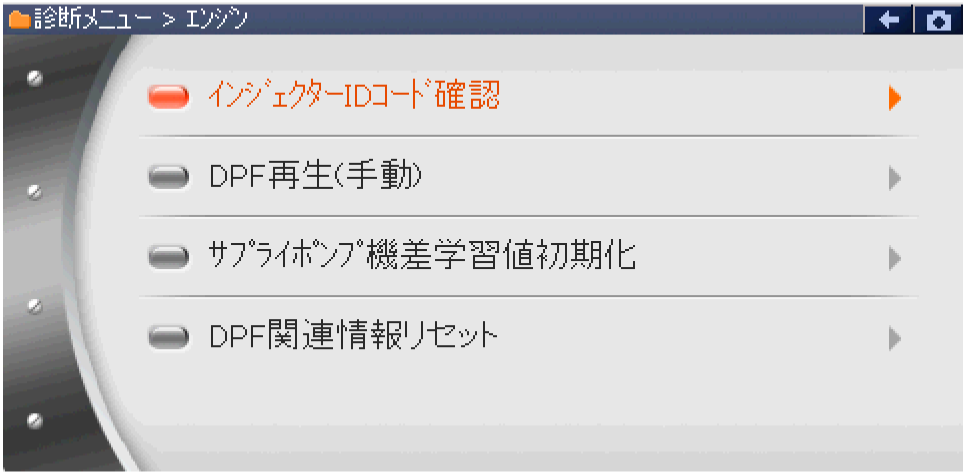


〈図：診断メニューにて作業サポートを選択〉

2）作業サポート項目選択画面が表示されます。実行する項目を選択して ENTER ボタンを押してください。



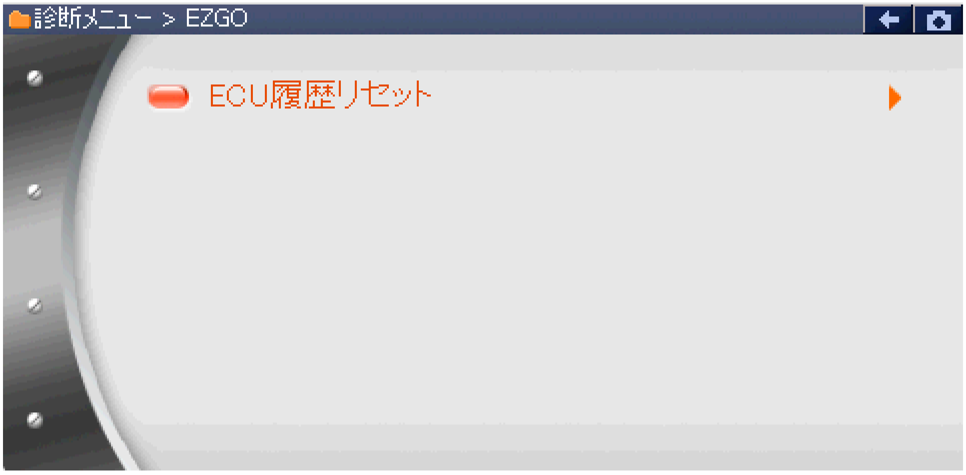
〈図：作業サポート項目選択画面〉



〈図：作業サポート項目選択画面〉



〈図：作業サポート項目選択画面〉

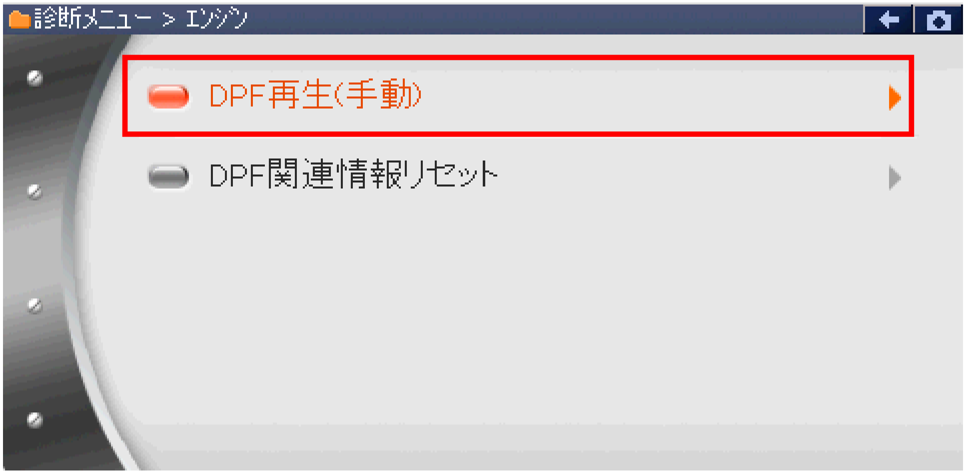


〈図：作業サポート項目選択画面〉

DPF再生(手動)：	DPF再生を実施します。 ※所要時間 = 約20分
DPF関連情報リセット:	ECUが記憶しているDPF関連情報を消去します。
A/T通信履歴リセット:	ECUが記憶しているA/T通信履歴を消去します。
SCR関連情報リセット:	ECUが記憶しているSCR関連情報を消去します。
サプライポンプ 機差学習値初期化:	サプライポンプ学習値を初期化します。 サプライポンプ交換またはエンジンECU交換(再使用または流用)時に実施します。
インジェクターIDコード確認:	各気筒のインジェクターIDコードを確認する際に使用します。 ※車種「ファイター」の一部の車種のみ本機能を搭載しています。
エアフローセンサー 情報表示/特性No.書込み:	ECUが記憶しているエアフローセンサーの情報を表示し、 必要があれば特性No.をECUへ書込みます。
ECU再起動:	ECUの再起動を実施します。
ECU履歴リセット	ECUが記憶している履歴情報をリセットします。

≪作業サポート「DPF再生(手動)」≫

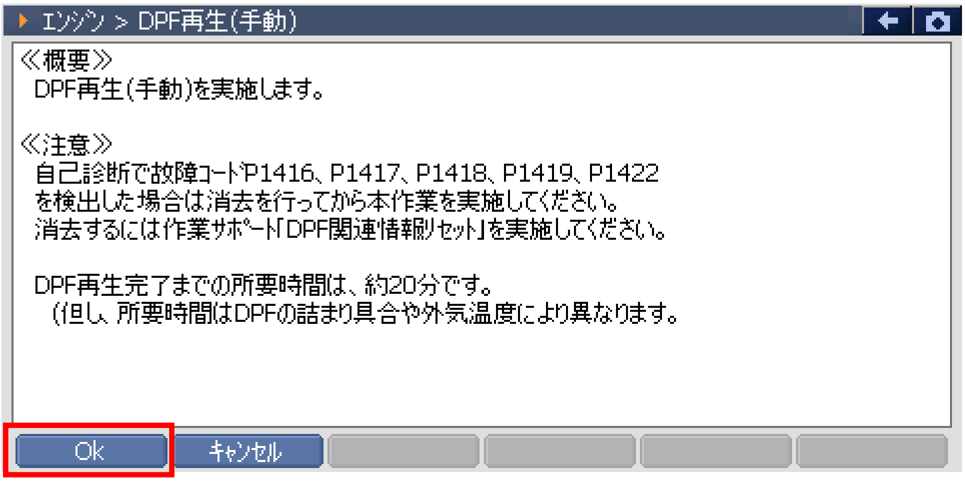
1）作業サポート項目選択画面から『DPF再生(手動)』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『DPF再生(手動)』の注意メッセージ画面に移ります。

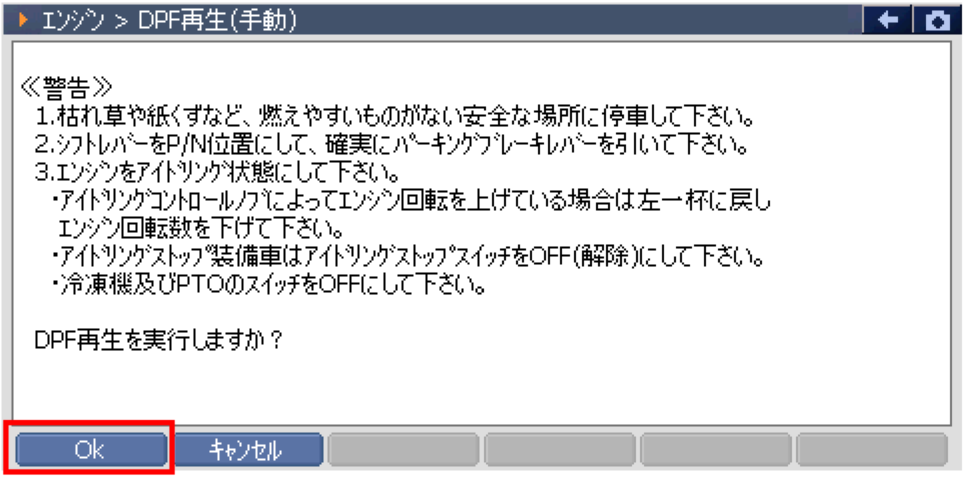
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：注意メッセージ画面　DPF再生(手動)〉

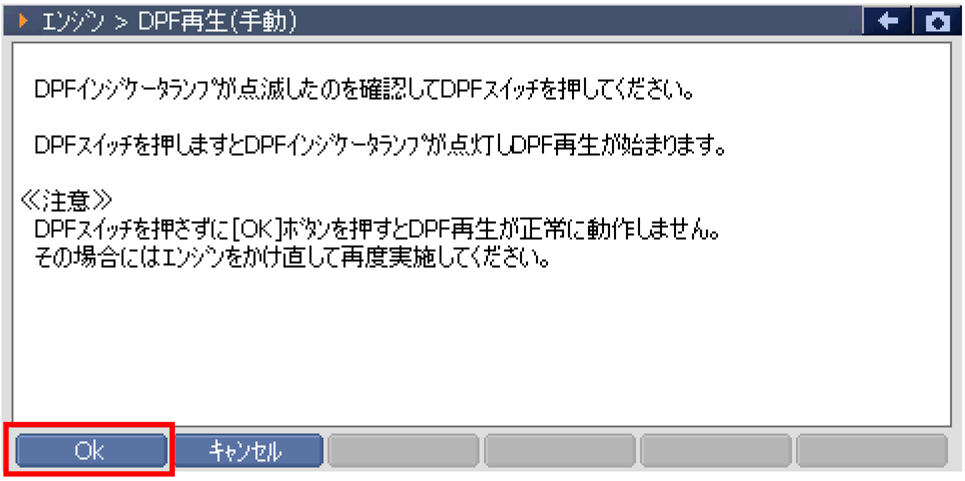
3)『DPF再生(手動)』の警告メッセージ画面に移ります。

警告メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。

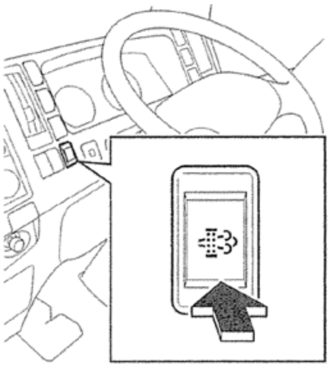


〈図:警告メッセージ画面　DPF再生(手動)〉

4）メッセージに従い、メータ内のDPFインジケータランプが点滅したのを確認して車両側にあるDPFスイッチを押してください。DPFスイッチを押しますとDPFインジケータランプが点灯しDPF再生が始まります。PFインジケータランプが点灯したのを確認して Ok ボタンを押してください。



〈図:実行メッセージ画面　DPF再生(手動)〉

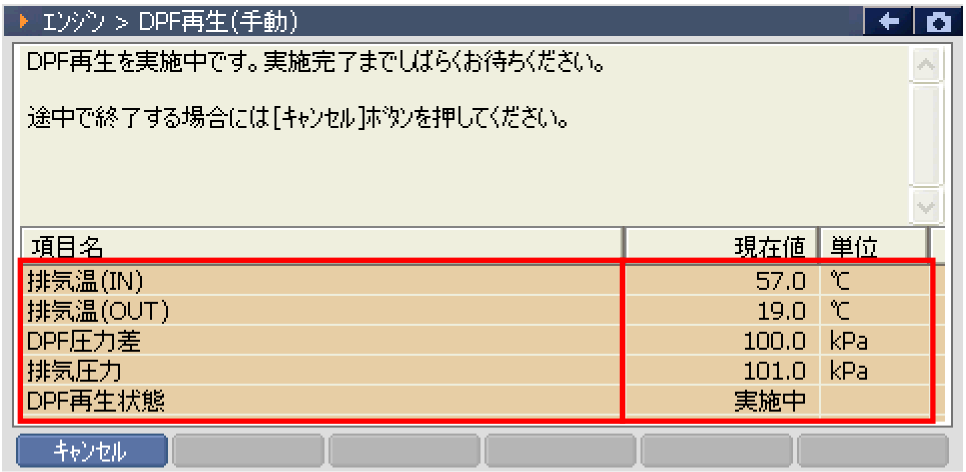


〈図：DPFスイッチ〉

※注意と補足※

- 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。
- 上記のDPFスイッチは車両により配置位置、形状が異なる場合があります。

5）『DPF再生(手動)』の実行画面に移ります。DPF再生中の状態が表示されます。

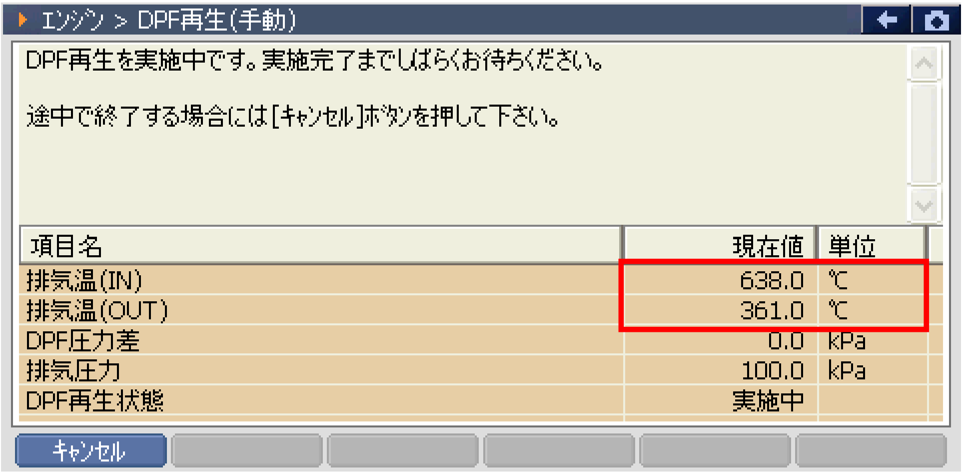


〈図：実行画面　DPF再生(手動)〉

※ 注意と補足※

- 以下、DPF再生中の例を示します。車両により状態が異なる場合があります。

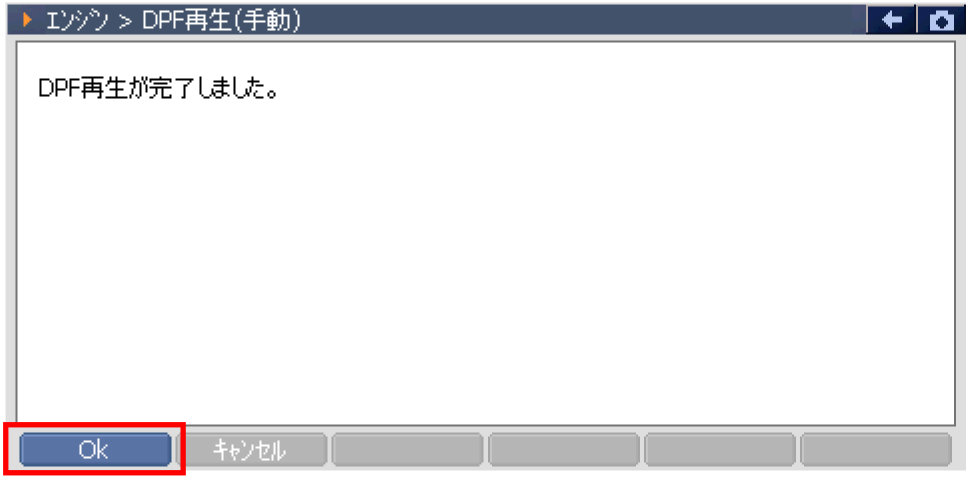
DPF再生開始後、自動的にエンジン回転速度が上がり、徐々に排気温(IN)、排気温（OUT）が上昇します。



〈図：実行画面　DPF再生(手動)〉

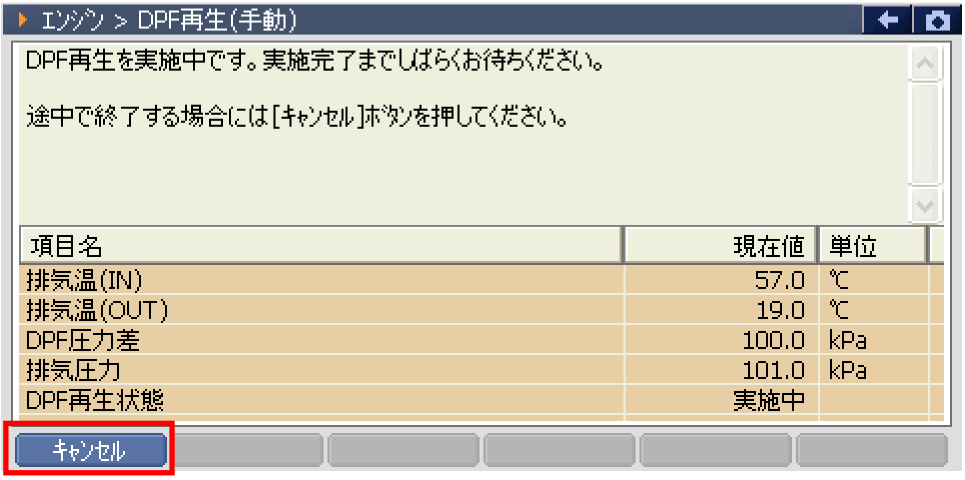
6）約20分経過後、DPF再生完了メッセージが表示されますので、

ボタンを押して『DPF再生（手動）』を完了してください。



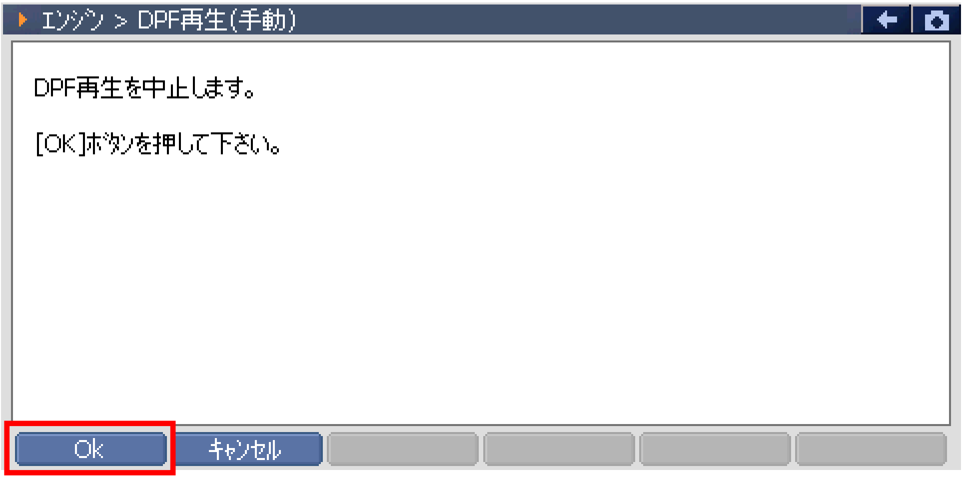
〈図：完了画面　DPF再生(手動)〉

7）やむを得ず、『DPF再生(手動)』を途中で中止する場合は キャンセル ボタンを押してください。



〈図：実行画面　DPF再生(手動)〉

8）再生中止メッセージ表示されますので、メッセージに従い操作してください。
Ok ボタンを押して『DPF再生(手動)』を中止してください。



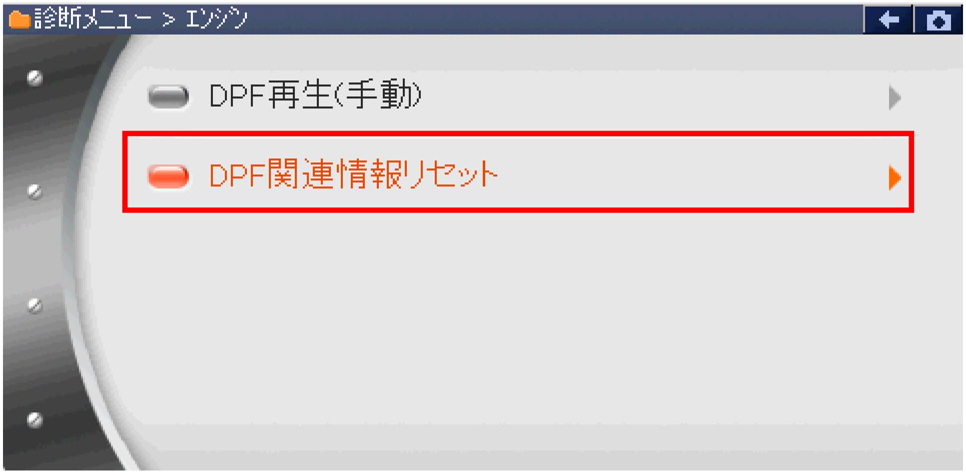
〈図：再生中止画面　DPF再生(手動)〉

※注意と補足※

- 注意、警告メッセージは必ず最後までご確認ください。
- 手順通りに実施しないと、正常に動作しない場合があります。

≪作業サポート「DPF関連情報リセット」≫

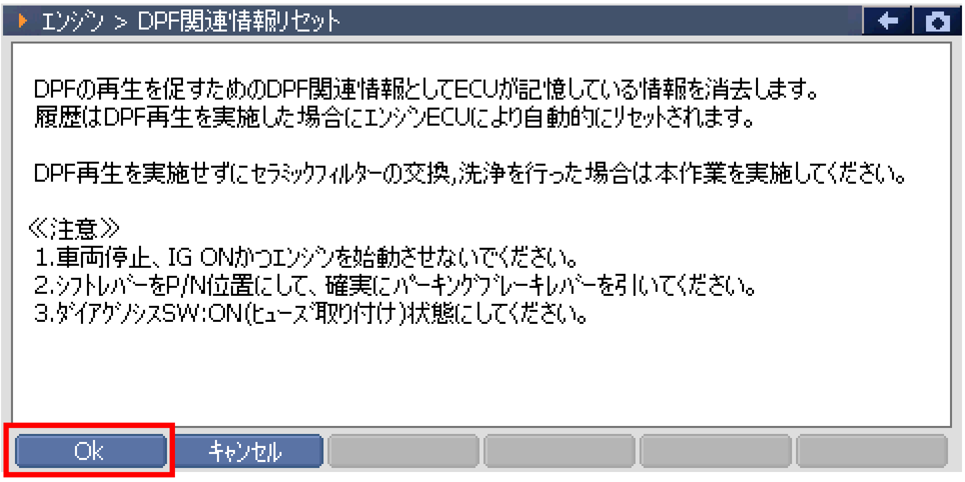
1) 作業サポート項目選択画面から『DPF関連情報リセット』を選択して  ボタンを押してください。



〈図:作業サポート項目選択画面〉

2) 『DPF関連情報リセット』の注意メッセージ画面に移ります。

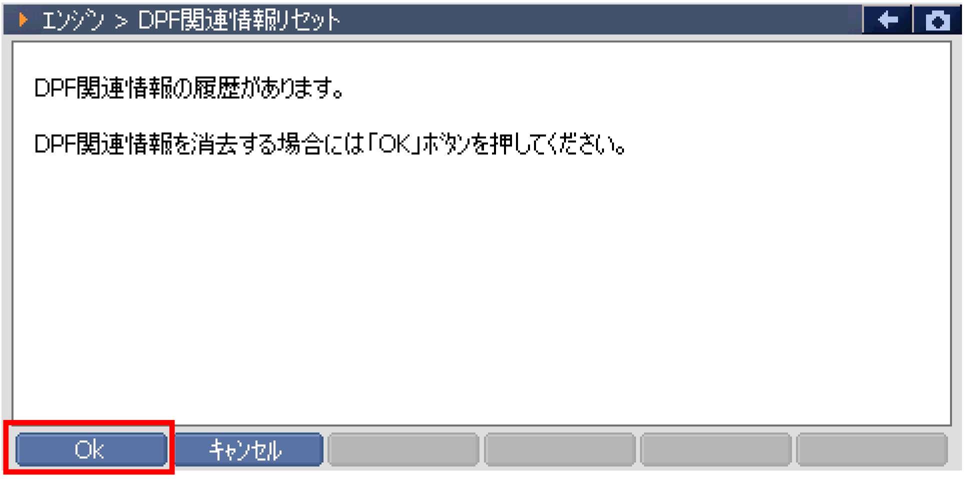
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ  ボタンを押してください。



〈図:注意メッセージ画面　DPF関連情報リセット〉

3）『DPF関連情報リセット』の履歴についての説明画面に移ります。

履歴がある場合以下のメッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：履歴メッセージ画面　DPF関連情報リセット〉

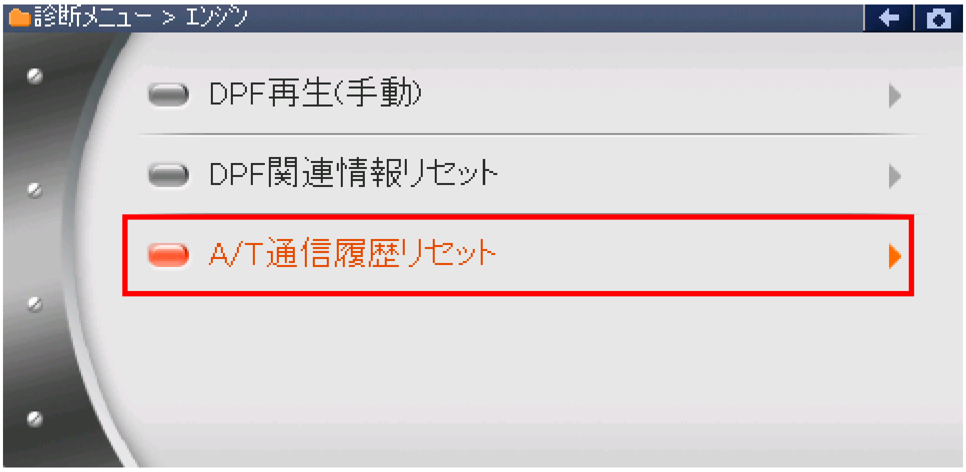
4）履歴消去完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押して『DPF関連情報リセット』を終了します。



〈図：完了メッセージ画面　DPF関連情報リセット〉

≪作業サポート「A/T通信履歴リセット」≫

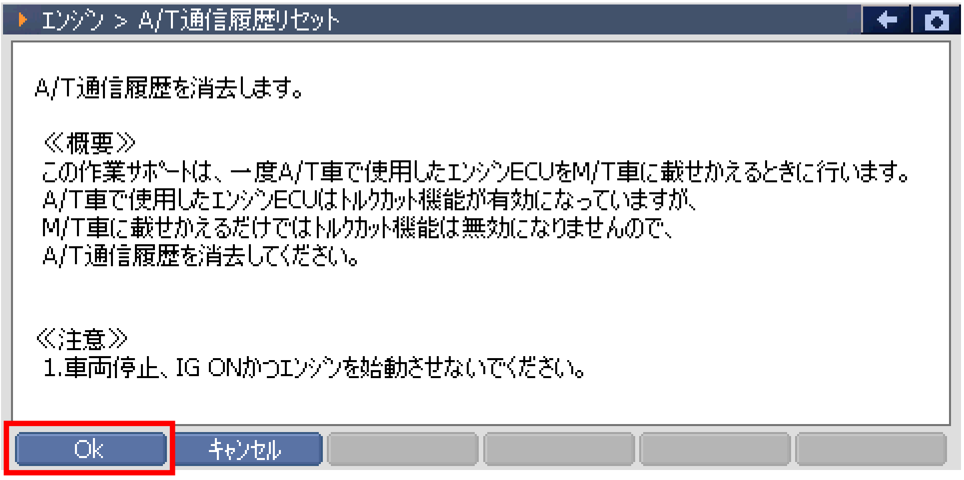
1）作業サポート項目選択画面から『A/T通信履歴リセット』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『A/T通信履歴リセット』の注意メッセージ画面に移ります。

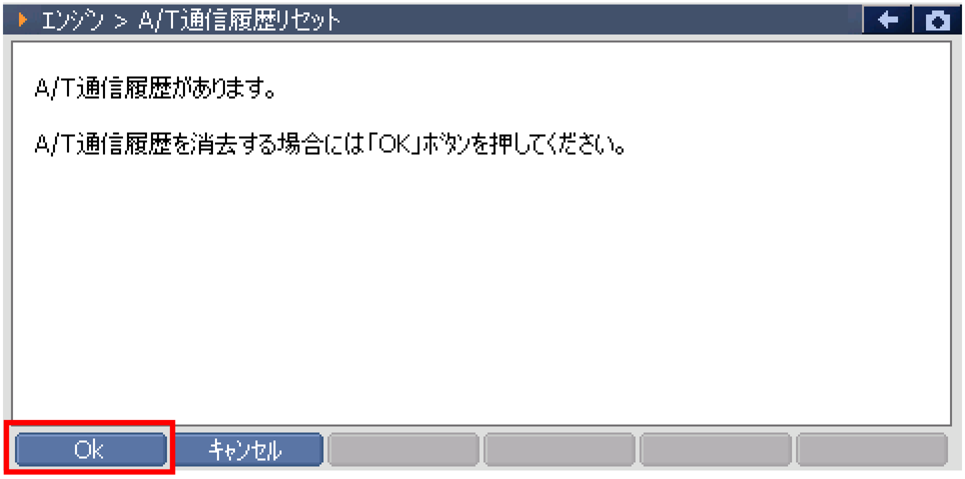
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：注意メッセージ画面　A/T通信履歴リセット〉

3）『A/T通信履歴リセット』の履歴についての説明画面に移ります。

履歴がある場合以下のメッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：履歴メッセージ画面　A/T通信履歴リセット〉

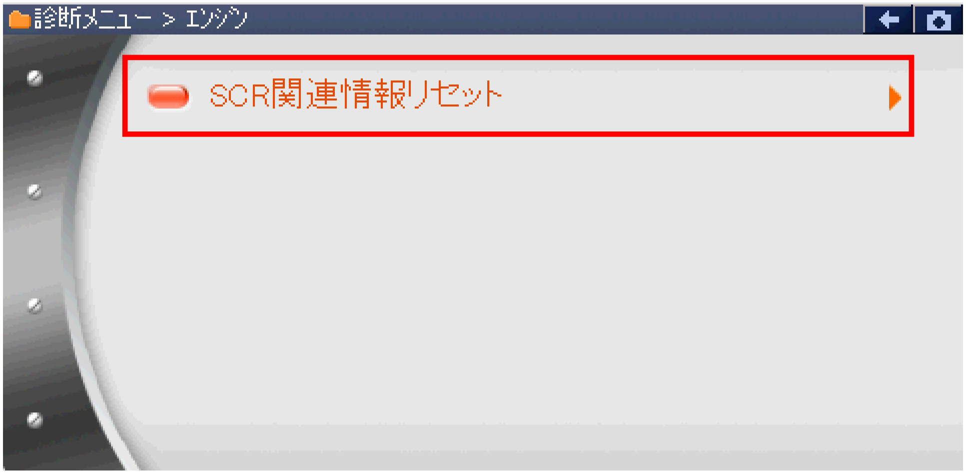
4）履歴消去完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してDPF関連情報リセットを終了します。



〈図：完了メッセージ画面　A/T通信履歴リセット〉

≪作業サポート「SCR関連情報リセット」≫

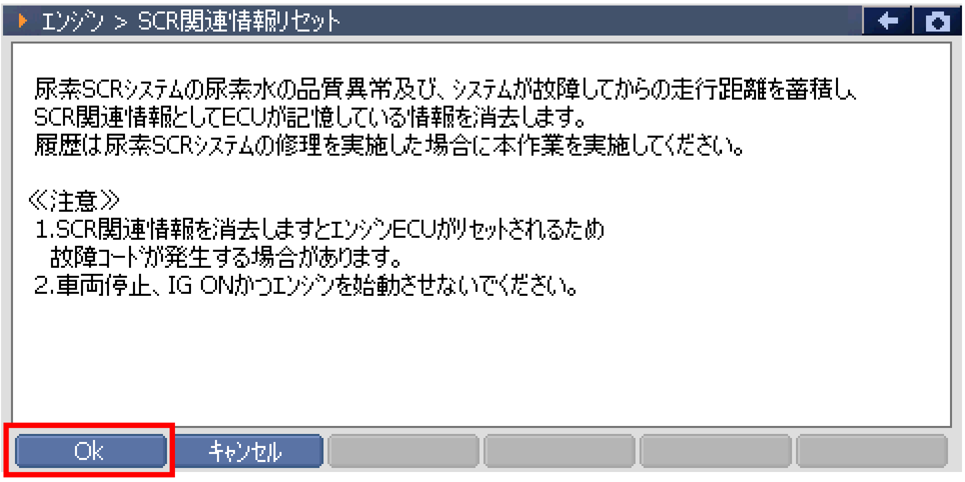
1) 作業サポート項目選択画面から『SCR関連情報リセット』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

2)『SCR関連情報リセット』の注意メッセージ画面に移ります。

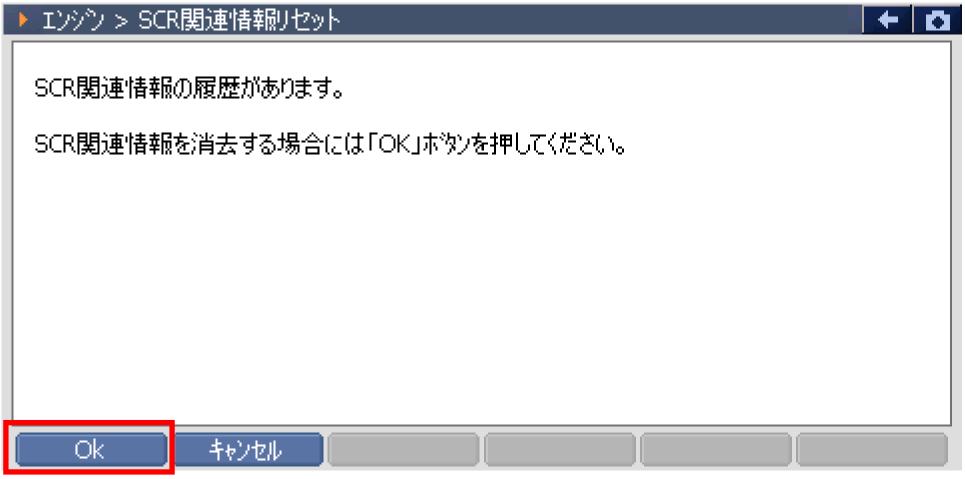
注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：注意メッセージ画面　SCR関連情報リセット〉

3)『SCR関連情報リセット』の履歴についての説明画面に移ります。

履歴がある場合以下のメッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図:履歴メッセージ画面　SCR関連情報リセット〉

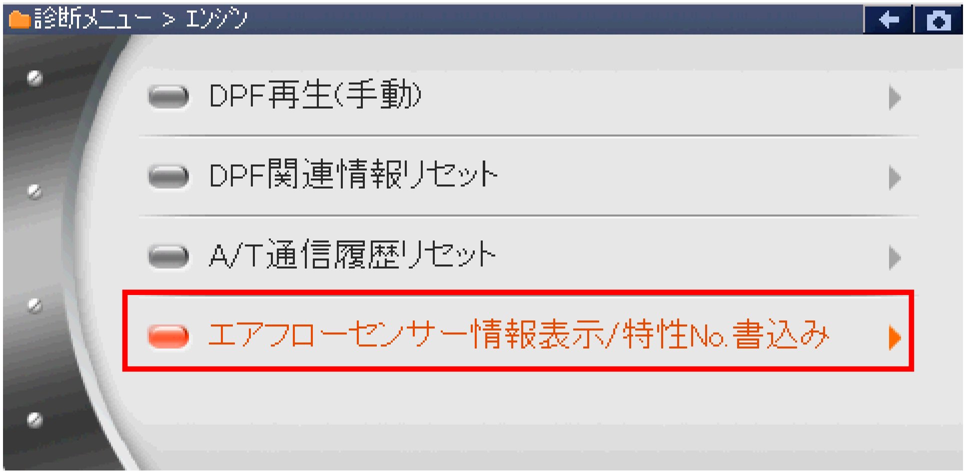
4) 履歴消去完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してDPF関連情報リセットを終了します。



〈図:完了メッセージ画面　SCR関連情報リセット〉

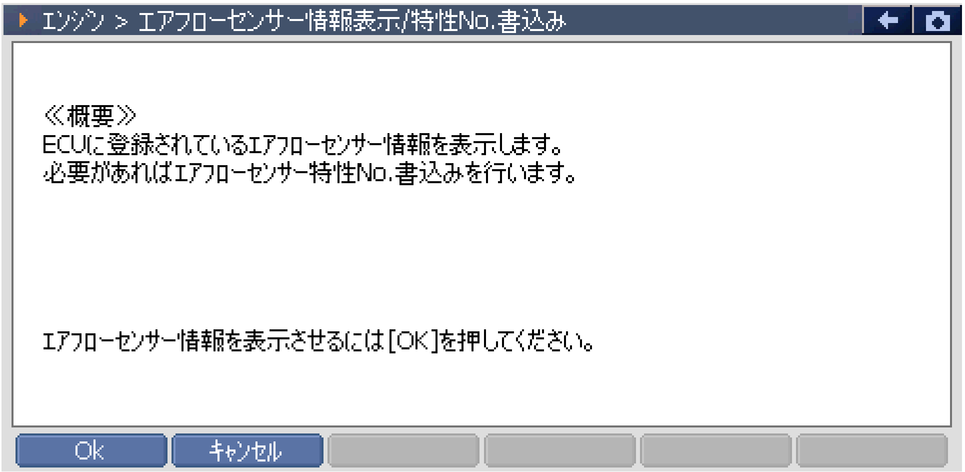
≪作業サポート「エアフローセンサー情報表示/特性No.書込み」≫

1）作業サポート項目選択画面から『エアフローセンサー情報表示/特性No.書込み』を選択して ENTER ボタンを押してください。



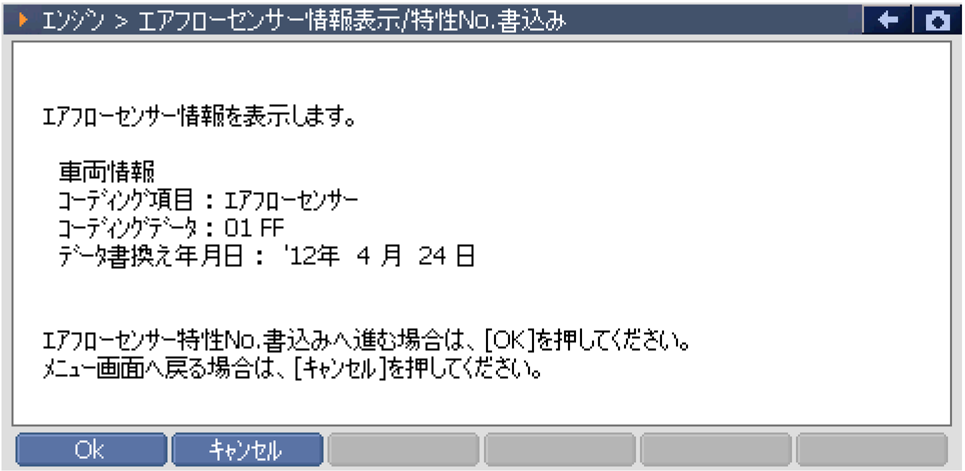
〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『エアフローセンサー情報表示/特性No.書込み』の注意メッセージ画面に移ります。内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



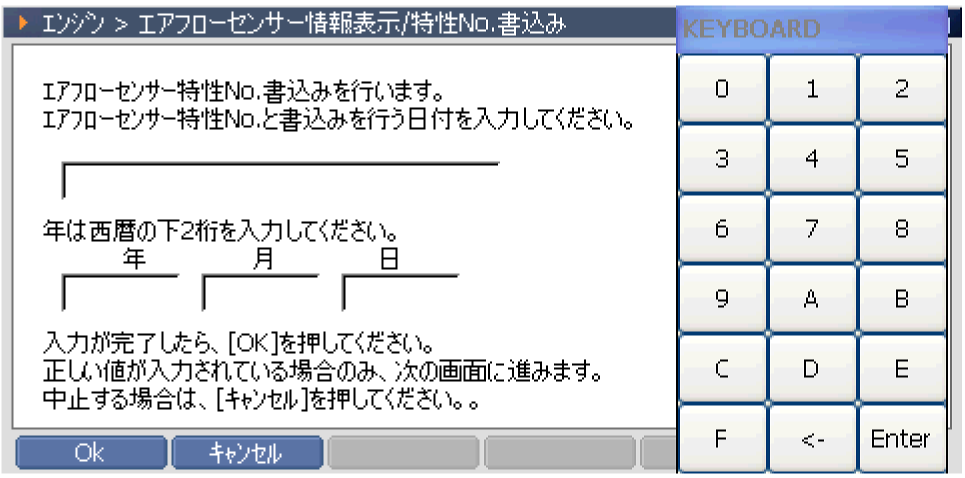
〈図：作注意メッセージ画面〉

3）エアフローセンサー情報が表示されます。続けてエアフローセンサー特性No.書込みを行うときは、Ok ボタンを押してください。お客様の環境によって、エアフローセンサー情報の表示のみに対応する場合あがります。



〈図：エアフローセンサー情報表示画面〉

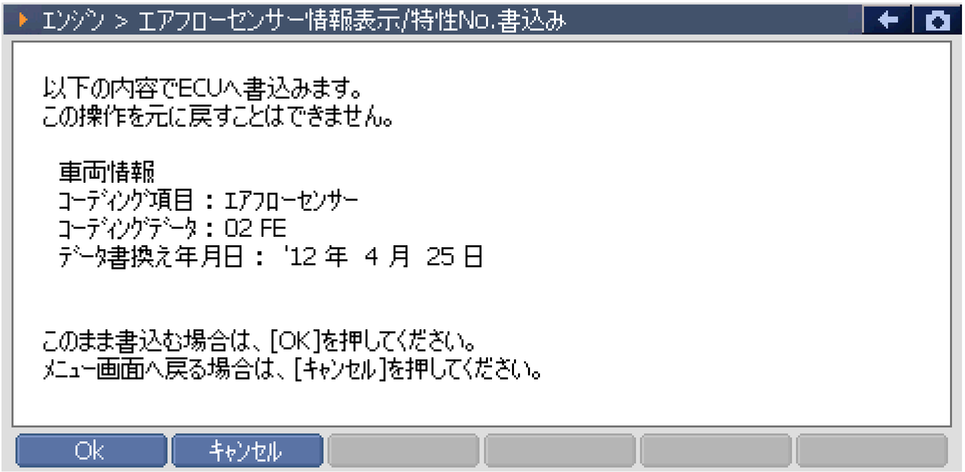
4）上段にエアフローセンサー特性No.を入力します。下段に書込みを行う年月日を入力します。年は西暦の下2桁を入力してください。入力が完了したら、Ok ボタンを押してください。正しい値が入力されている場合のみ、次の画面へ進みます。画面が変化しない場合は、入力した値をもう一度確認してください。



〈図：エアフローセンサー特性No.入力画面〉

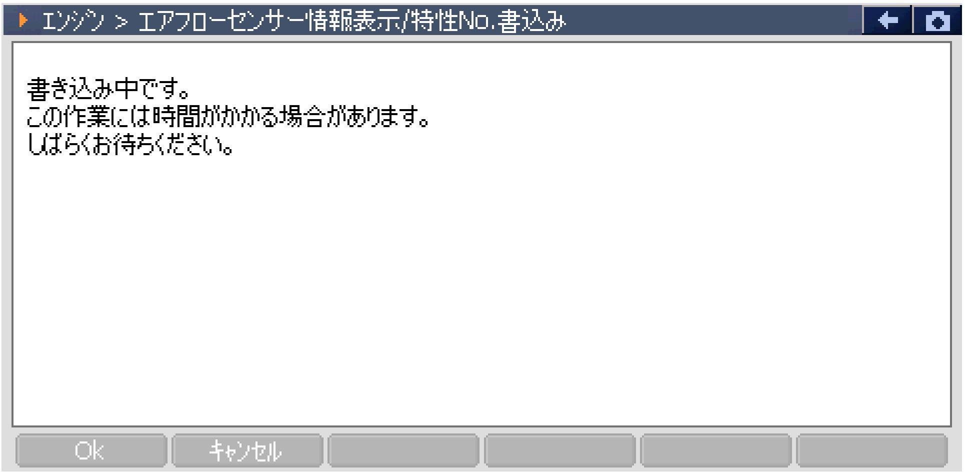
5） これからECUへ書込むデータが表示されます。値が正しければ、

ボタンを押してください。



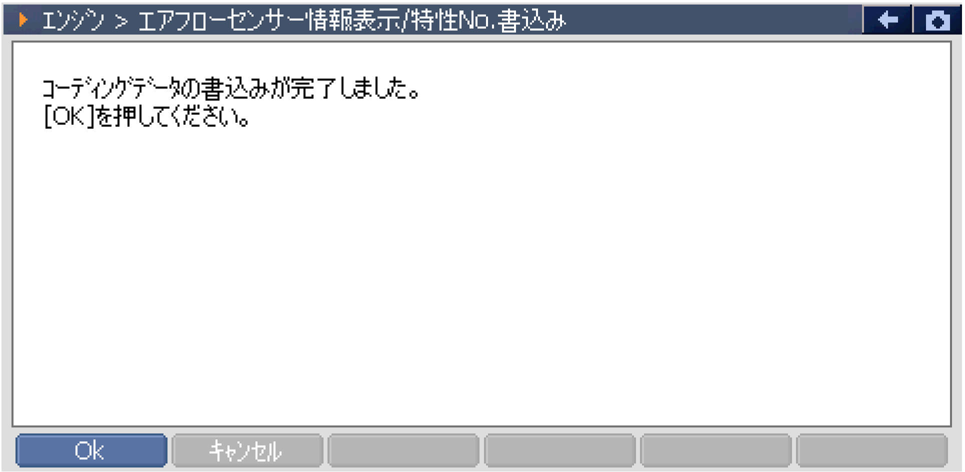
〈図：エアフローセンサー特性No.入力確認画面〉

6） データの書込み中は以下の画面が表示されます。書込みには時間がかかることがあります。



〈図：エアフローセンサー特性No.書込み中画面〉

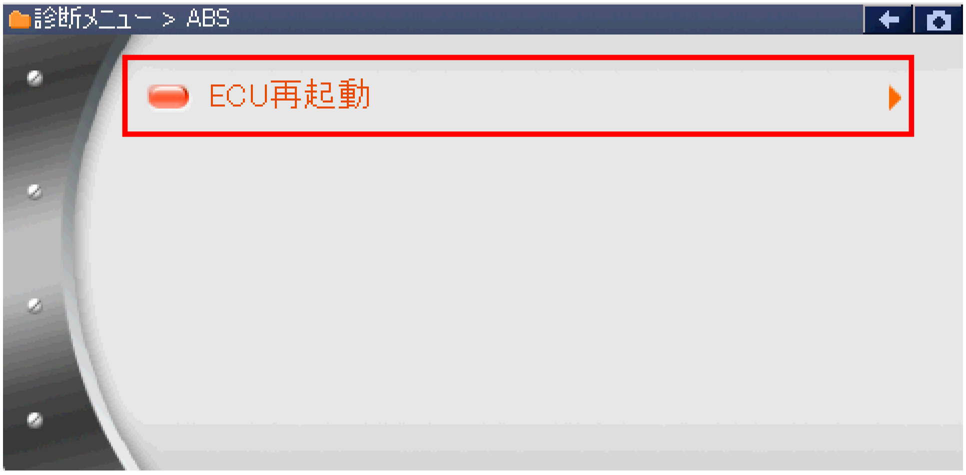
7） 書込み完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押して『エアフローセンサー特性情報表示/特性No.書込み』を終了します。



〈図：エアフローセンサー特性No.書込み完了画面〉

≪作業サポート「ECU再起動」≫

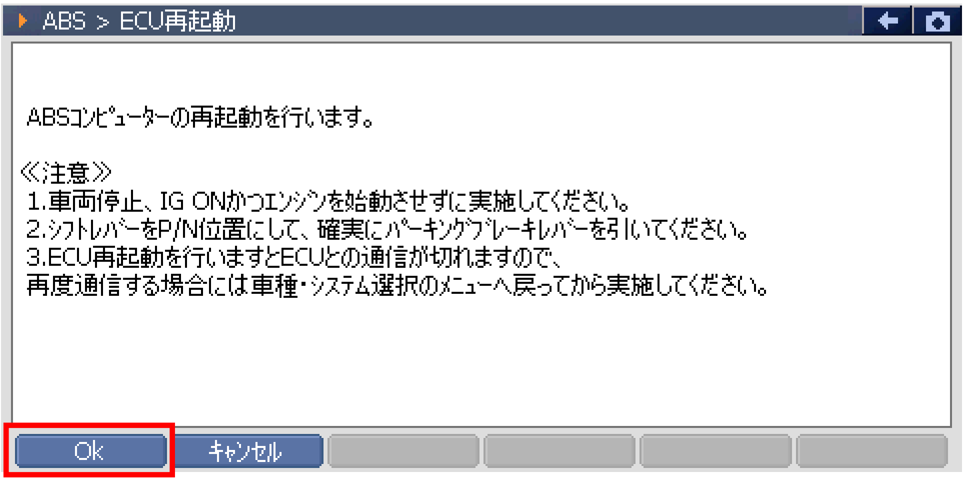
1) 作業サポート項目選択画面から『ECU再起動』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

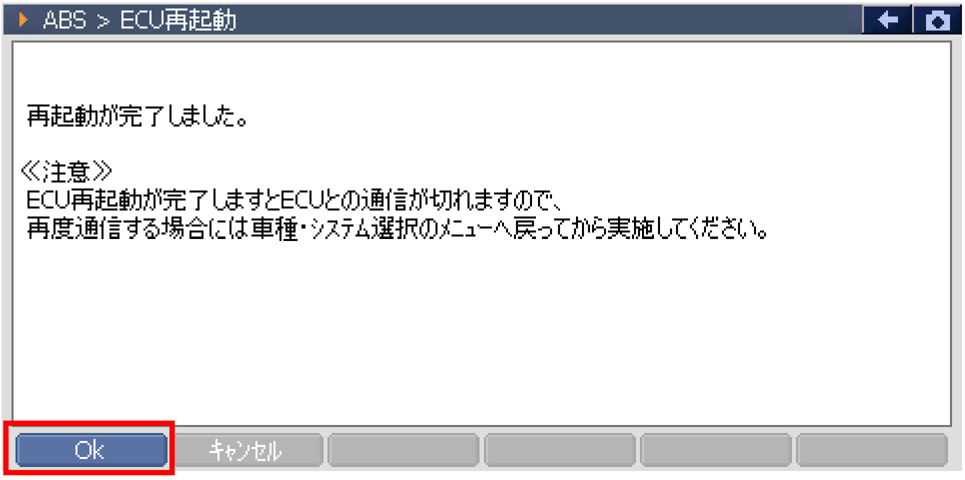
4) 『ECU再起動』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：注意メッセージ画面　ECU再起動〉

5）再起動完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押してECU再起動を終了します。

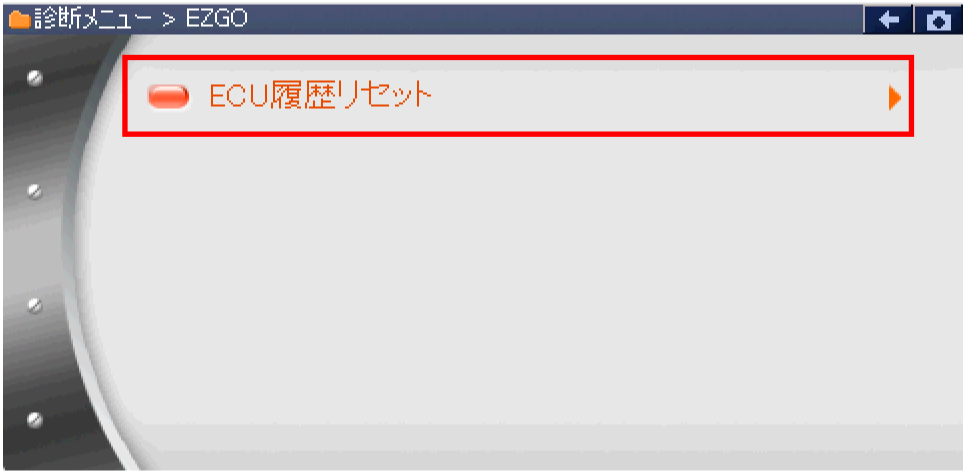


〈図：再起動完了メッセージ画面　ECU再起動〉

≪作業サポート「ECU履歴リセット」≫

1）作業サポート項目選択画面から『ECU履歴リセット』を選択して 

ボタンを押してください。

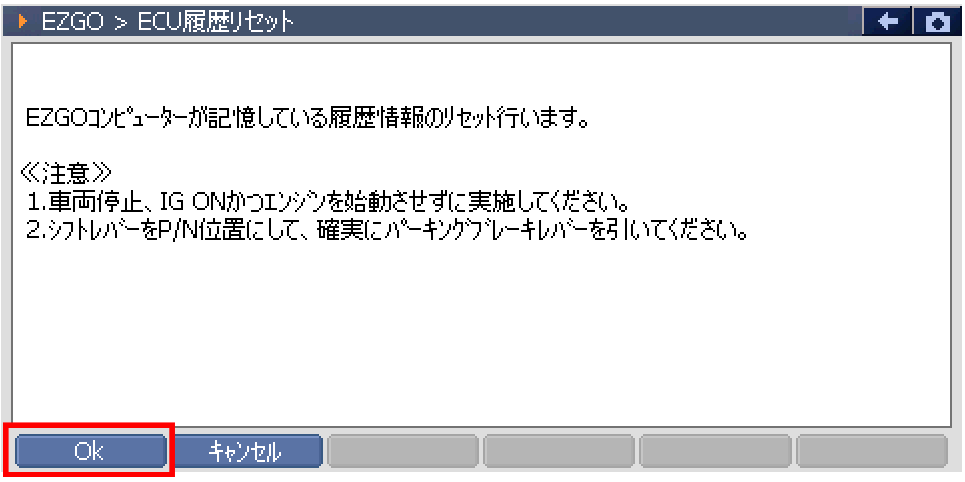


〈図：作業サポート項目選択画面〉

2）『ECU履歴リセット』の注意メッセージ画面に移ります。

注意メッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ 

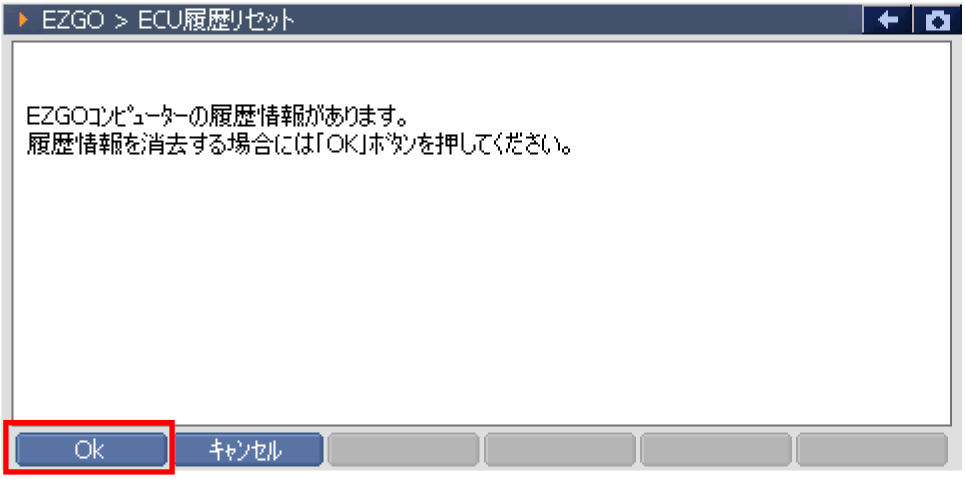
ボタンを押してください。



〈図：注意メッセージ画面　ECU履歴リセット〉

3）『ECU履歴リセット』の履歴についての説明画面に移ります。

履歴がある場合以下のメッセージが表示されますので、内容をご確認いただき、よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：履歴メッセージ画面　ECU履歴リセット〉

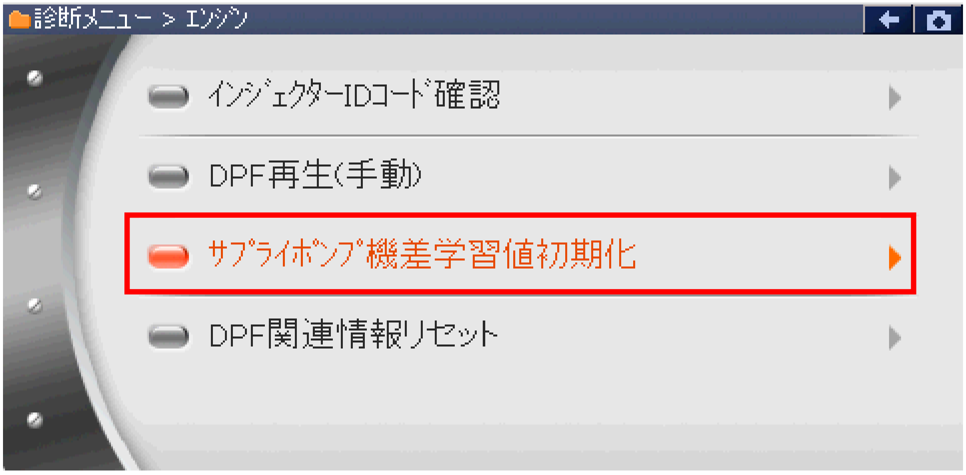
4）履歴消去完了のメッセージが表示されます。 Ok ボタンを押して『ECU履歴リセット』を終了します。



〈図：完了メッセージ画面　ECU履歴リセット〉

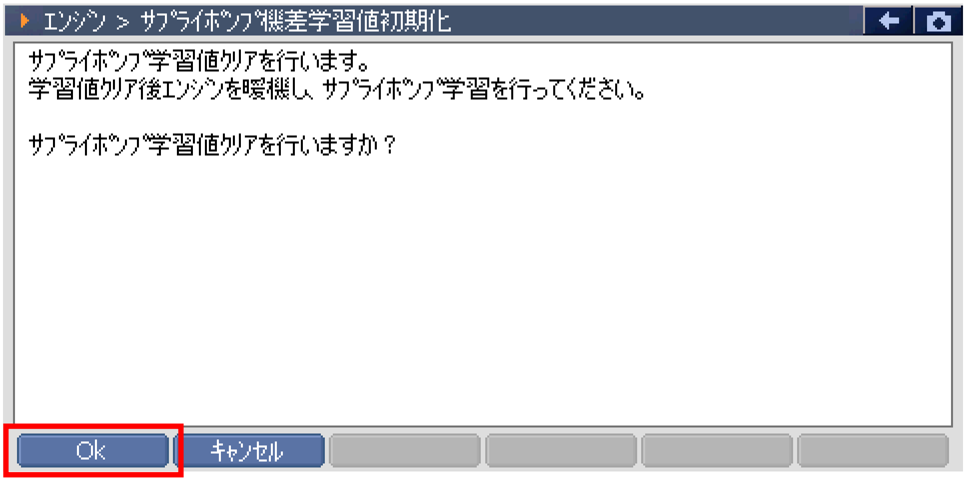
≪作業サポート「サプライポンプ機差学習値初期化」≫

1）作業サポート項目選択画面から『サプライポンプ機差学習値初期化』を選択して ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

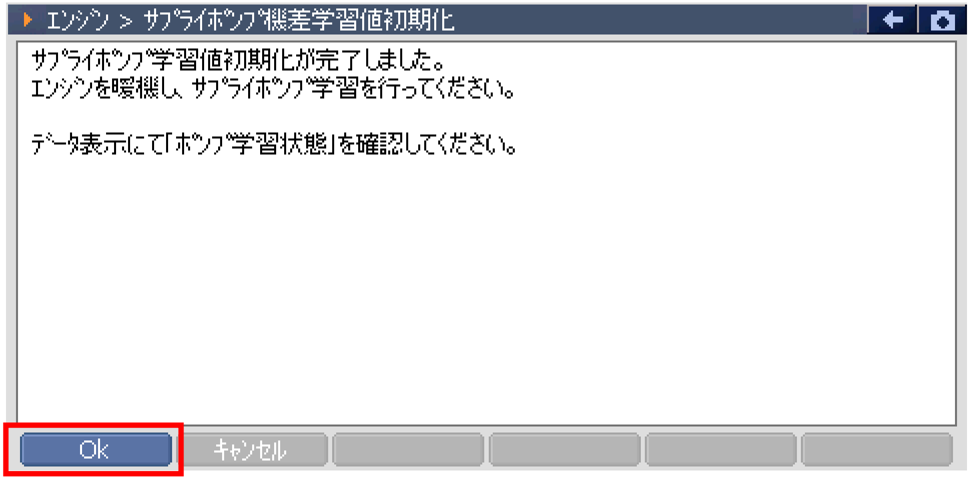
2）『サプライポンプ機差学習値初期化』の注意メッセージ画面に移ります。注意メッセージが表示されますので、内容をご確認ください。よろしければ Ok ボタンを押してください。



〈図：確認メッセージ画面　サプライポンプ機差学習値初期化〉

3) 初期化完了のメッセージが表示されます。

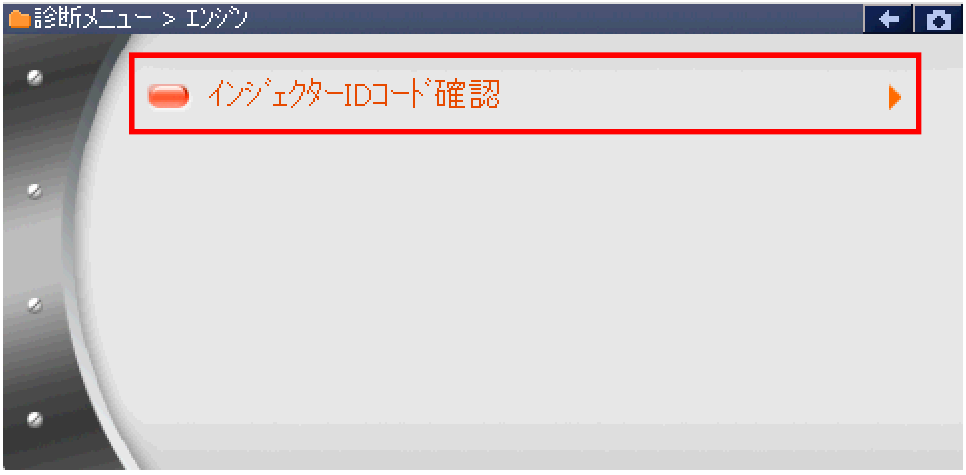
ボタンを押して『サプライポンプ機差学習値初期化』を終了します。メッセージの内容に従ってエンジンを暖機してサプライポンプ機差学習値初期化の作業を完了してください。



〈図：完了メッセージ画面　サプライポンプ機差学習値初期化〉

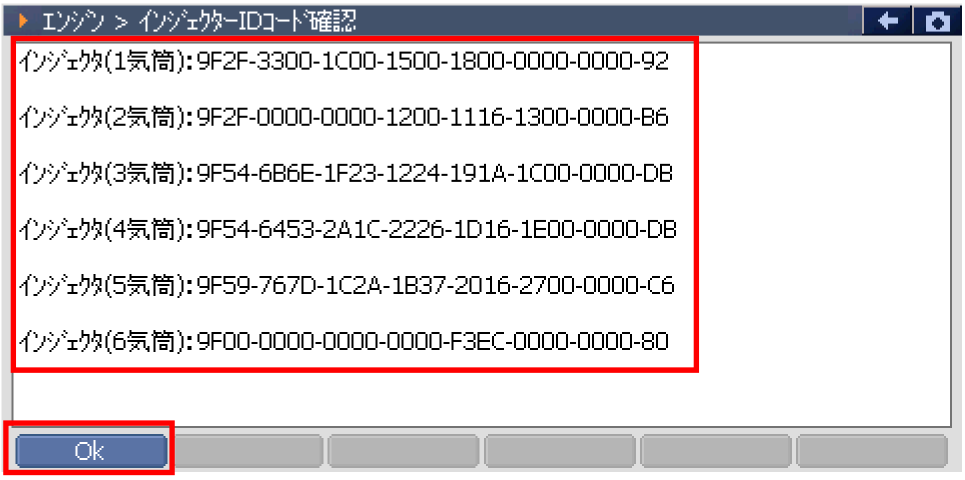
≪作業サポート「インジェクターIDコード確認」≫

1）作業サポート項目選択画面から『インジェクターIDコード確認』を選択して
ENTER ボタンを押してください。



〈図：作業サポート項目選択画面〉

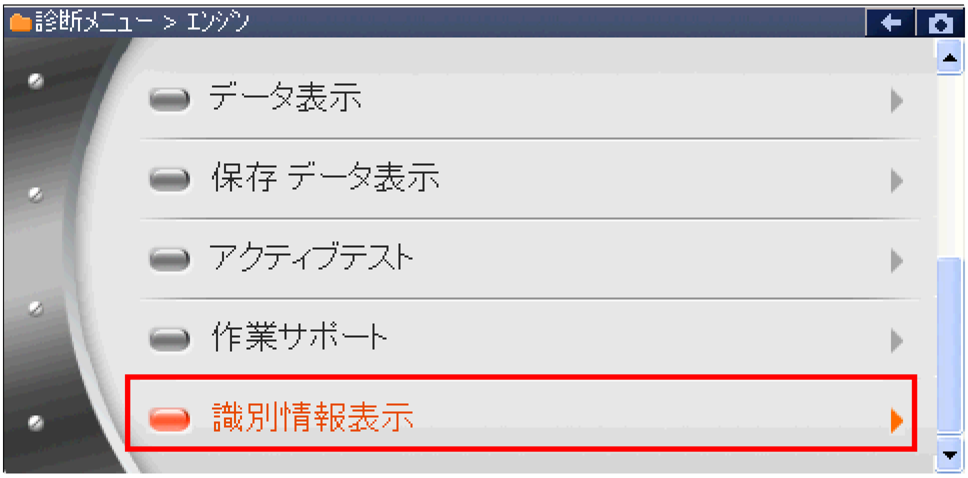
2）インジェクターIDコードが確認できます。よろしければ Ok ボタンを押し、『インジェクターIDコード確認』を終了してください。



〈図：確認メッセージ画面　インジェクターIDコード確認〉

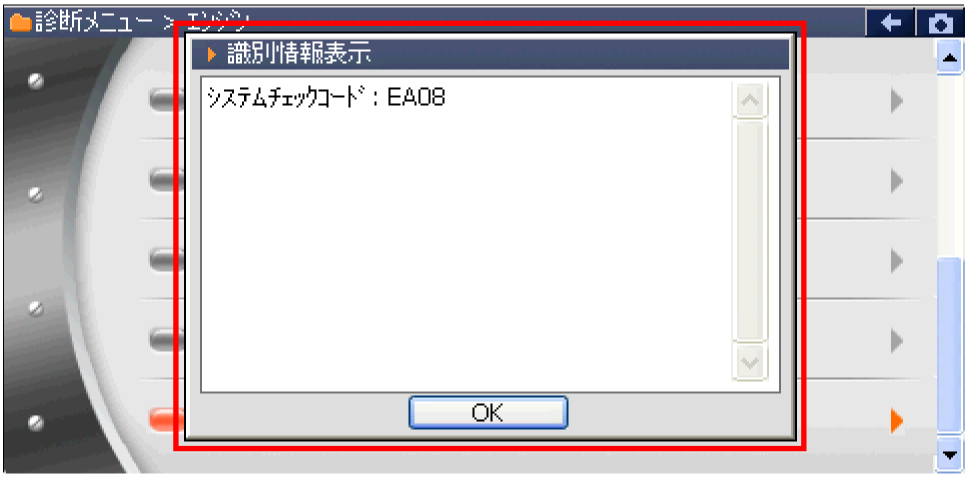
識別情報表示機能

1）診断メニューにおいて『識別情報表示』を選択して ENTER ボタンを押して下さい。



〈図：診断メニューにて識別情報表示を選択〉

2）識別情報が表示されます。



〈図：識別情報表示画面〉

※注意と補足※

・ 上記の画面はエンジンシステムの識別情報表示画面です。

表示される内容は選択するシステムによって異なります。

株式会社 インターサポート

〒310-0836

茨城県水戸市元吉田町329-5

Tel 029-248-0616 Fax 029-248-1609

http://www.inter-support.co.jp

製品保守センター

（修理のお問合せはこちら）

Tel 029-304-0185

サポートセンター

（製品のご相談・ご質問はこちら）

Tel 0570-064-737 （ナビダイヤル※）

Fax 029-304-0167

※IP電話・PHSからはご利用出来ませんので、FAXでお問い合わせください。

2013年1月発行 第17版

本書に記載の製品、製品仕様、および使用方法は改良のために、将来予告なしに変更される場合があります。 G1PZFDN001-17-17